取扱説明書

GEデジタルカメラ

Gシリーズ | G2

Aシリーズ | A735/A835
A1030/A1230

Eシリーズ | E840s/E1035
E1235

警告

火災や感電の原因となるため、装置を雨や湿気にさらさないでください。

米国の顧客の場合

テストを受けFCC標準に適合

家庭または事務所で使用する場合

FCC声明

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:

(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

ヨーロッパの顧客の場合

「CE」マークは本製品が安全、健康、環境および顧客保護に関して欧州 要件に準拠していることを示しています。

「CE」マークの付いたカメラはヨーロッパでの販売を意図しています。

[crossed-out wheeled bin WEEE Annex IV(コマ付きのごみ箱とx印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において廃電子・電池が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄については、お住まいの国で使用されている分別回収システムを使用してください。

適合宣言

モデル名:	G2/A735/A835/A1030/A1230 E840s/E1035/E1235
商標名:	GE
責任団体:	General Imaging Co.
住所:	2158 W.190th Street, Torrance、CA 90504、USA
電話番号:	1-800-730-6597

次の基準に適合:

EMC: EN 55022:1998/A1:2000/A2:2003 Class B
EN 55024:1998/A1:2001/A2:2003
EN 61000-3-2:2000/A1:2001
EN 61000-3-3:1995/A1:2001

EMC指令の条項に従っています
(89/336/EEC,2004/108/EEC)

安全のための注意事項

カメラに関する注意事項:

次の場所にカメラを保管したり使用したりしないでください。

- 雨の中、湿気の高い場所および埃っぽい場所。
- カメラが直射日光にさらされる場所、または夏の閉じた車の中など、高温になる場所。
- モーター、トランスまたは磁石など、カメラが強い磁場にさらされる場所。

カメラを濡れた表面または力したたる水や砂に触れる場所に置かないでください。回復不能な障害の原因となります。

カメラを長期間使用しない場合、電池とメモリカードを取り出すことをお勧めします。

カメラを低温環境から温かい場所に急に持ち運ぶと、カメラ内部に結露が生じることがあります。カメラをオンにする前に、しばらくお待ちになるようにお勧めします。

記録した写真の損害賠償はいたしません。カメラまたは記録したメディアの機能不良により記録した写真を再生できない場合、記録した写真の損失は賠償されません。

電池に関する意事項注:

意事項を間違って使用すると、液漏れ、過熱、発火または爆発の原因となります。以下に示す注意事項を必ず守ってください。

- 電池を水に濡らさないようにし、端子が常に乾いた状態に保たれるように特別な注意を払う。
- 電池を熱したり、火中に投入しない。
- 電池を変形、分解または改造しない。
- パッケージに含まれるGE充電器を使用してリチウムイオン電池のみを充電する(G1およびEシリーズ用)。

電池は赤ちゃんや小さな子供の手の届かない場所に保管してください。

寒冷地域では、電池のパフォーマンスが低下し、使用できる時間も大幅に短くなります。

メモリカードに関する注意事項:

新しいメモリカードを使用するとき、またはメモリカードがPCで初期化された場合、ご使用の前にお使いのデジタルカメラでカードを必ずフォーマットしてください。

画像データを編集するには、画像データをPCのハードディスクにコピーし、その後ファームウェアをアップグレードする場合はメモリカードをフォーマットします。

PCでメモリカードのディレクトリ名、またはファイル名を変更または削除しないでください。カメラでカードを使用できなくなる原因となります。

使用前に

序章

GEデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをしっかりお読みになり、今後のため、本書は安全な場所に保管してください。

Copyright

本刊行物は、一部でも再生したり、受信システムで転送、転写または保管、あるいは、いかなる形態または方法によっても、General Imaging Companyの書面による事前承認なしに、言語やコンピュータ言語に翻訳することはできません。

商標

本書に記載された商標はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者に帰属します。

安全に関する情報

製品をご使用になる前に、次の重要な情報をよくお読みください。.

- カメラを分解したり、ご自分で修理しようと試みないでください。
- カメラは、落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。不適切な取り扱いは、製品の破損の原因となります。
- バッテリやメモリカードの取り付けや取り外しの前に、カメラの電源をオフにしてください。.
- バッテリと充電器は、カメラに付属するもののみを使用してください。他のタイプのバッテリや充電器を使用するとカメラが損傷し、保証も無効になります。
- 本製品でリチウムイオンバッテリを使用する場合、正確に挿入されていることを確認してください。バッテリを逆に挿入することで、カメラが破損したり、火事の原因になったりすることあります。
- カメラのレンズに触れないでください。

- カメラを湿気や、極端な高温・低温にさらさないでください。極端な環境にさらすとカメラの寿命が短くなったり、バッテリが損傷する可能性があります。
- カメラは、破損する危険がありますので、埃っぽい、汚れた、または砂のある場所で使用したり、保管したりしないでください。
- カメラを長期間直射日光にさらさないでください。
- カメラを長期間保管する場合、カメラからすべての写真をダウンロードし、バッテリを取り出してください。
- カメラの洗浄に、研磨剤入り洗剤、アルコールベース、または溶剤ベースの洗浄剤を使用しないでください。カメラは、軽く湿らせた、柔らかい布で拭き取ってください。

本マニュアルについて

本マニュアルには、GEデジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。本マニュアルの内容の正確を期してあらゆる努力が払われていますが、General Imaging Companyでは内容を予告なしに変更する

事があります。

本マニュアルで使用される記号

情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルを通して次の記号が使用されています。

 知っていると役に立つ情報を示します。

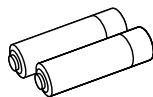
 カメラを操作している間に取るべき注意事項を示します。

目次

準備をする

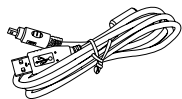
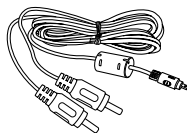
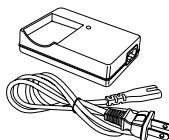
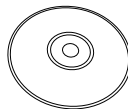
開封

パッケージにはご購入されたカメラモデル、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください。（付属品は、お買い上げのモデルによって異なります。以下を参照してください）。

充電式リチウムイオン電池
(A735/A835/A1030/A1230を除く)

単三アルカリ電池X2
(A735/A835/A1030/A1230のみ)

ユーザーマニュアル

クイックスタートガイド

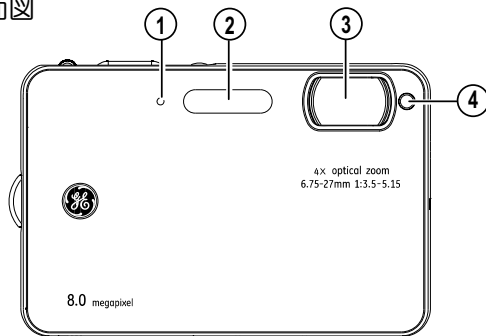
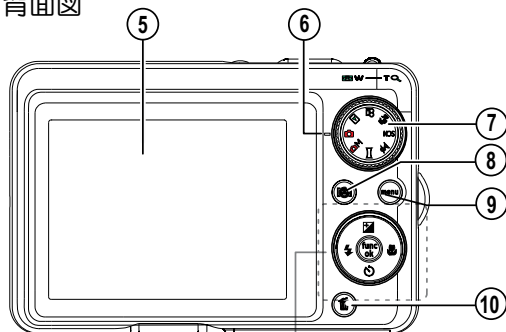
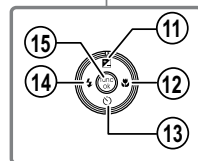
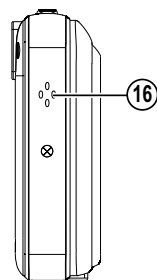
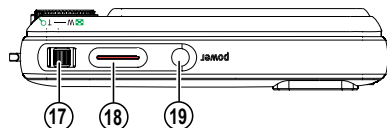
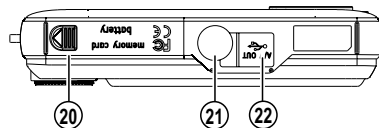
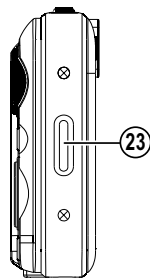
保証書

USBケーブル

AVケーブル

電池充電器
(A735/A835/A1030/A1230を除く)

CD-ROM

リストストラップ

カメラの外観: G2

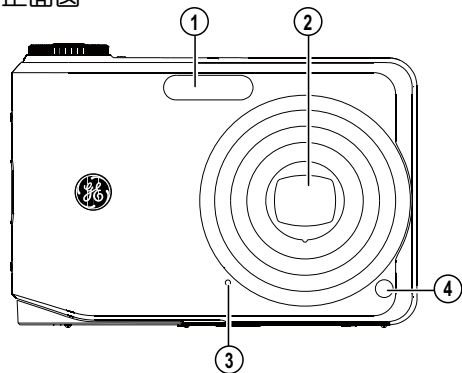
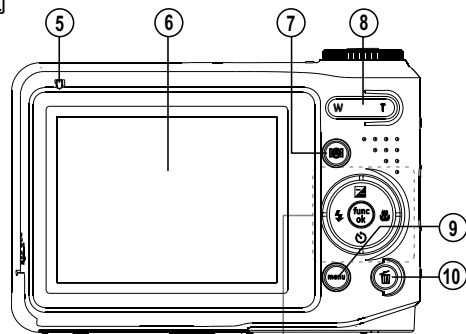
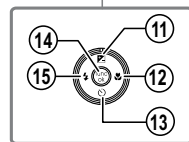
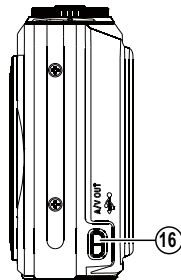
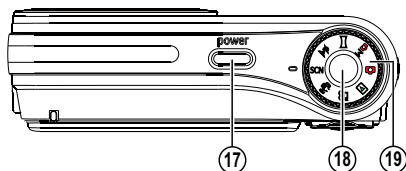
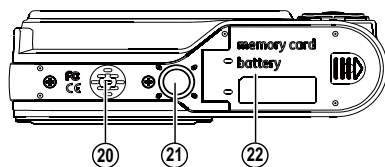
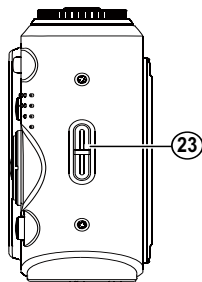
正面図
背面図
右側面図
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
4X optical zoom
6.75-27mm 1:3.5-5.15
8.0 megapixel
W
T
SCN
menu
func
ok

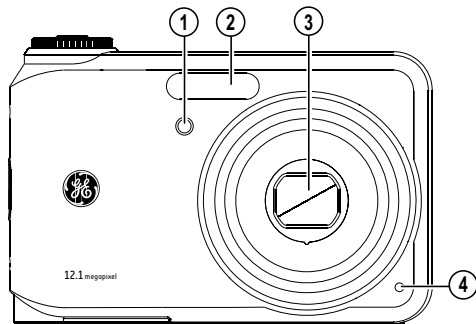
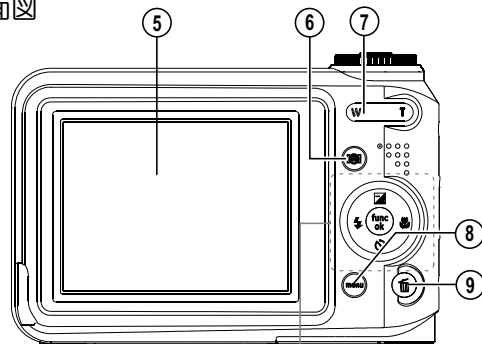
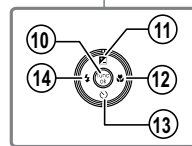
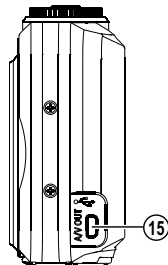
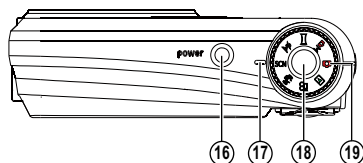
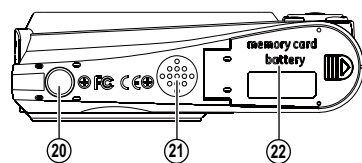
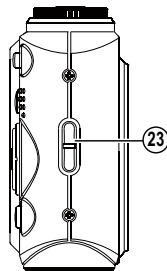
上面図

下面図

左側面図

1	マイク	13	セルフタイマー/下ボタン
2	フラッシュ	14	フラッシュモード/左ボタン
3	レンズ	15	func/OKボタン
4	AFアシストビーム/ タイマーインジケーター	16	スピーカー
5	液晶モニター	17	ズーム作動ツマミ
6	ステータスLED	18	シャッターボタン
7	モードダイヤル	19	電源ボタン
8	顔優先AFボタン	20	電池カバー(メモリーカード/電池収納部)
9	メニューボタン	21	三脚取り付けねじ
10	消去ボタン	22	USB/ AVポート
11	露出補正/上ボタン	23	ストラップ取り付け部
12	マクロモード/右ボタン		

カメラの外観: A735/A835

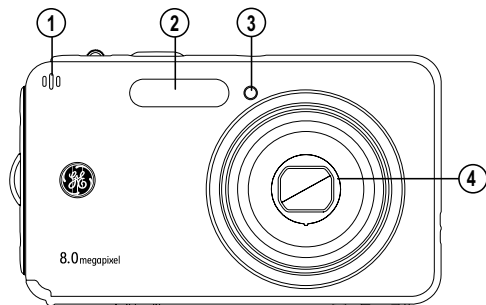
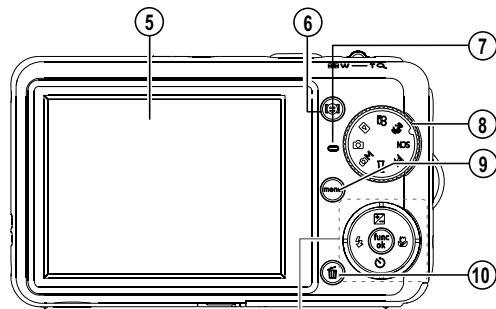
上面図

下面図

左側面図

1	フラッシュ	13	セルフタイマー/下ボタン
2	レンズ	14	func/OKボタン
3	マイク	15	フラッシュモード/左ボタン
4	AFアシストビーム/ タイマーインジケーター	16	USB/ AVポート
5	ステータスLED	17	電源ボタン
6	液晶モニター	18	シャッターボタン
7	顔優先AFボタン	19	モードダイヤル
8	ズーム作動ツマミ	20	スピーカー
9	メニューボタン	21	三脚取り付けねじ
10	消去ボタン	22	電池カバー（メモリーカード /電池収納部）
11	露出補正/上ボタン	23	ストラップ取り付け部
12	マクロモード/右ボタン		

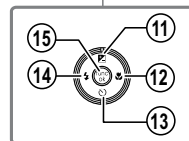
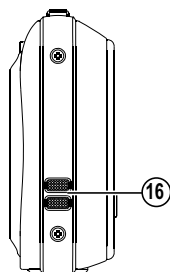
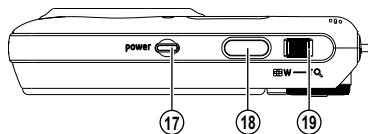
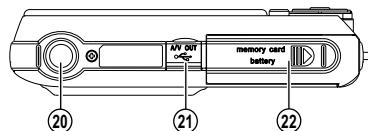
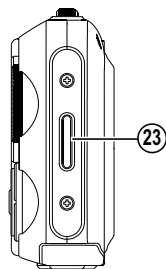
カメラの外観: A1030/A1230

上面図

下面図

左側面図

1	AFアシストビーム/ タイマーインジケーター	13	セルフタイマー/下ボタン
2	フラッシュ	14	フラッシュモード/左ボタン
3	レンズ	15	USB/ AVポート
4	マイク	16	電源ボタン
5	液晶モニター	17	ステータスLED
6	顔優先AFボタン	18	シャッターボタン
7	ズーム作動ツマミ	19	モードダイヤル
8	メニューボタン	20	三脚取り付けねじ
9	消去ボタン	21	スピーカー
10	func/OKボタン	22	電池カバー（メモリーカード /電池収納部）
11	露出補正/上ボタン	23	ストラップ取り付け部
12	マクロモード/右ボタン		

カメラの外観: E840s

正面図

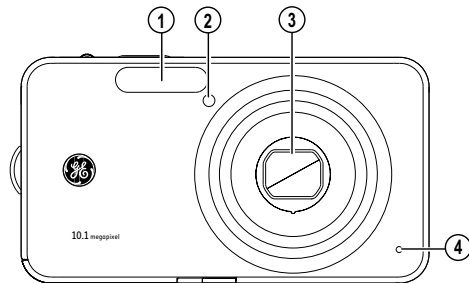
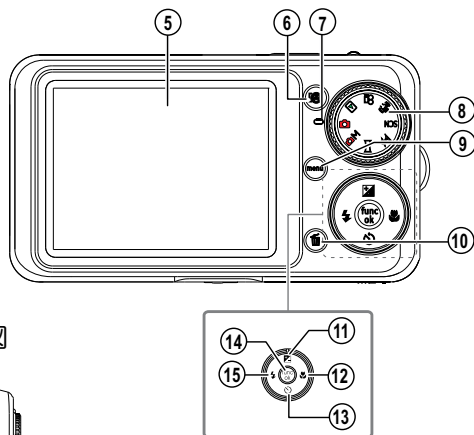
背面図

右側面図

上面図

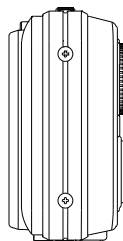
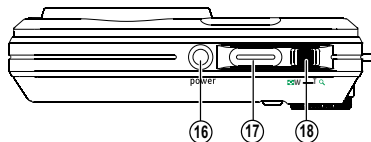
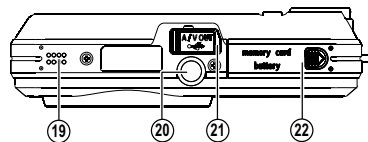
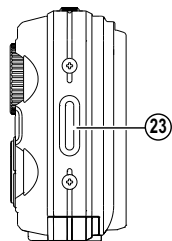
下面図

左側面図

1	マイク	13	セルフタイマー/下ボタン
2	フラッシュ	14	フラッシュモード/左ボタン
3	AFアシストビーム/ タイマーインジケーター	15	func/OKボタン
4	レンズ	16	スピーカー
5	液晶モニター	17	電源ボタン
6	顔優先AFボタン	18	シャッターボタン
7	ステータスLED	19	ズーム作動ツマミ
8	モードダイヤル	20	三脚取り付けねじ
9	メニューボタン	21	USB/ AVポート
10	消去ボタン	22	電池カバー（メモリーカード /電池収納部）
11	露出補正/上ボタン	23	ストラップ取り付け部
12	マクロモード/右ボタン		

カメラの外観: E1035/E1235

正面図

背面図

右側面図

上面図

下面図

左側面図

1	フラッシュ	13	セルフタイマー/下ボタン
2	AFアシストビーム/ タイマーインジケーター	14	func/OKボタン
3	レンズ	15	フラッシュモード/左ボタン
4	マイク	16	電源ボタン
5	液晶モニター	17	シャッターボタン
6	顔優先AFボタン	18	ズーム作動ツマミ
7	ステータスLED	19	スピーカー
8	モードダイヤル	20	三脚取り付けねじ
9	メニューボタン	21	USB/ AVポート
10	消去ボタン	22	電池カバー（メモリーカード /電池収納部）
11	露出補正/上ボタン	23	ストラップ取り付け部
12	マクロモード/右ボタン		

電池の充電 (A735/835/1030/1230 を除く)

1. 図に示すように、電池を充電器にセットします。.
2. 接続するケーブルの一方の端を充電器のベースに差し込みます。
3. 接続するケーブルのもう一方の端をコンセントに差し込みます。

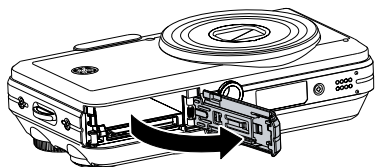
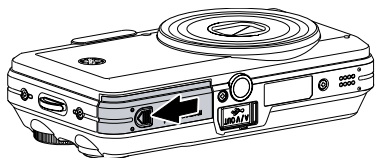
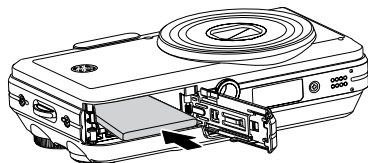
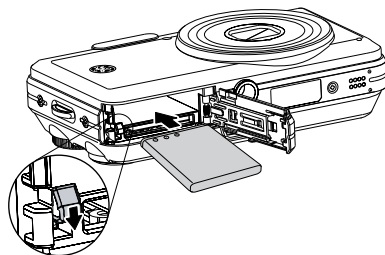
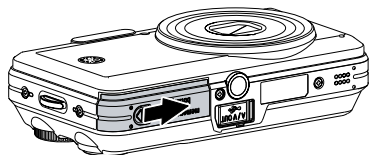
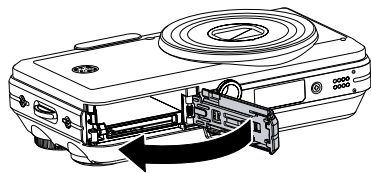
充電器のライトが緑になるまで、電池を充電器に入れたままにします。

(電池の寿命を最大限に延ばすために、最初の充電は 4 時間以上行ってください)

これからの取扱説明はE1035モデルでします。

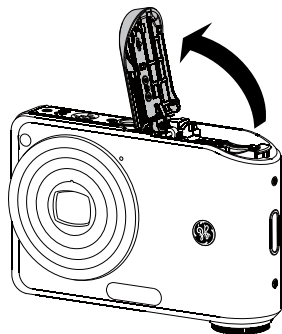
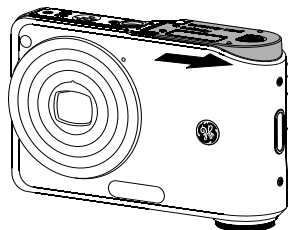
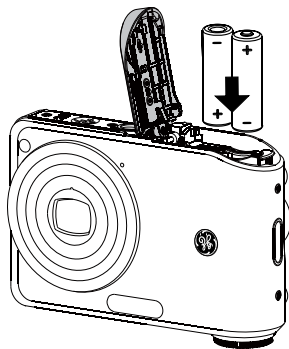
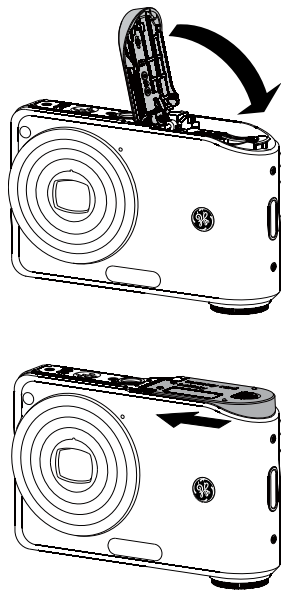
(G2、A735、A835、A1030、A1230、E840s、および E1235 は同じように動作します)。

電池の挿入

1. 電池カバーを開けます。

2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池を挿入します。図に示すように、電池の側面を使用してストッパーを押し下げ、電池を適切に挿入します。

3. 電池カバーを閉じます。

電池容量は、使用と共に減少します。

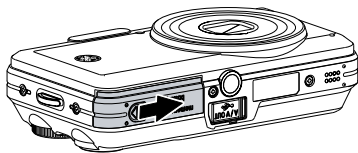
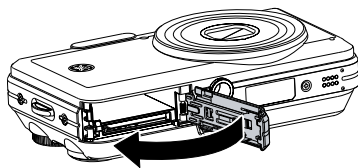
電池の挿入(A735/835/1030/1230)

1. 電池カバーを開けます。

2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池を挿入します。図に示すように、電池の側面を使用してストッパーを押し下げ、
電池を適切に挿入します。

3. 電池カバーを閉じます。

オプションの SD/SDHC カードの挿入

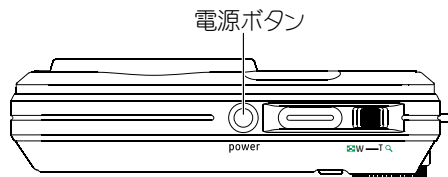
1. 電池カバーを開けます。

オプションの SD/SDHC カードは別売です。信頼できるデータ保存のためには、SanDisk、Panasonic および Toshiba などの認められた製造元の、 64MB～4GB のメモリーカードの使用をお勧めします。

2. 図に示すように、オプションの SD/SDHC カードをメモリカードスロットに挿入します。

3. 電池カバーを閉じます。

SD/SDHC カードを取り外すには、電池カバーを開き、カードをそっと押して放します。カードを慎重に引き出します。

オン/オフの切り換え

カメラの電源ボタンを押して、オンにします。カメラの電源をオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。

電源がオンになると、カメラはモードダイヤル設定に従ってモードに入ります。カメラがオンになった後、モードダイヤルを回してモードを変更することもできます。

モードダイヤルの使用

GE カメラには便利なモードダイヤルが装備されているため、さまざまなモードを簡単に切り換えることができます。使用可能なモードは、下記の一覧で説明します。

モード名	アイコン	説明
オート		静止画像の撮影に切り換えます。(カメラは、デフォルトのプログラム済み自動設定を使用します)。
再生		このモードに切り換えると、メモリカードや内部メモリに格納された写真/ビデオが表示されます。
動画		このモードに切り換えると、動画を録画します。
ブレ軽減		このモードに切り換えると、静止画像を撮影する時手ブレや被写体ブレを軽減します。
シーン	SCN	このモードに切り換えると、シーンモードをプリセットして静止画を撮影します。全部で、12 のシーンがあります。
ポートレート		クローズアップの人物写真を撮影するとき、ポートレートモードに切り換えます。
パノラマ		このモードに切り換えると、連続撮影し、それをつなぎ合わせて 1 枚のパノラマ写真にします。
手動	M	このモードに切り換えると、多くのカメラ設定が行え、手動モードで静止画撮影します。(上級ユーザーにのみお勧めします)

日付/時間と言語の設定

言語、日付、および時間を設定するには、セットアップメニューで次の設定を行う必要があります。

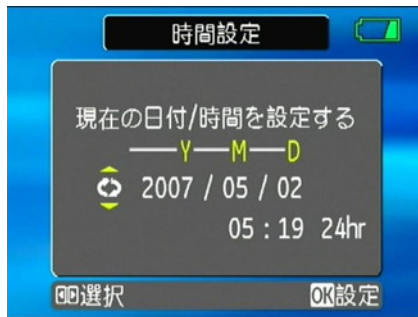
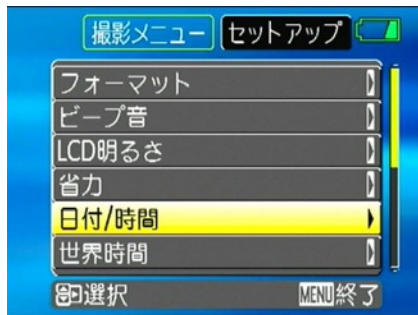
- 日付/時間
- 言語の表示

セットアップメニューにアクセスするには、次の手順に従います。

1. カメラの電源を押して、オンにします。
2. (menu)ボタンを押し上/下/左/右を使用してセットアップメニューを選択します。

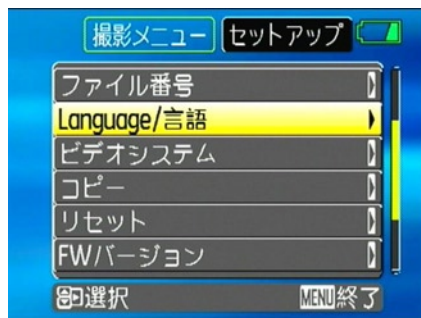
初めてこのカメラを使用する時、まずセットアップメニューで言語、日付、および時間を設定して下さい

日付と時間を設定する

1. 機能ボタンの上/下を使用して、日付/時間を選択します。次に、右を押して設定に入ります。

2. 機能ボタンの左/右を押して各領を指定し、上/下を使用して値を調整します。

3. (func ok) ボタンを押して設定を確定します。

言語を設定する

1. 機能ボタンの上/下を使用して、言語を選択します。次に、右を押して設定に入ります。

2. 機能ボタンを使って、目的の言語を選択します。

3. (func ok) ボタンを押して設定を確定します。

カメラの電源を初めて入れると、日付/時間と言語の設定画面が自動的に表示されます。

液晶モニターについて

カメラをオンにすると、液晶モニターにさまざまなアイコンが表示され、現在のカメラ設定とステータスを示します。表示されたアイコンの詳細については、38 ページの「LCD スクリーンディスプレイ」を参照してください。

液晶モニターに関する注:

液晶モニターの製造に当たっては、ほとんどのピクセルが操作するように、きわめて高い精度のテクノロジが使用されています。しかし、液晶モニターにいくつかのきわめて小さな点（黒、白、赤、青または緑）が常時表示される場合があります。これらの点は製造プロセスでは通常のことであり、記録された写真に影響を与えることは決してありません。

液晶モニターが損傷した場合、モニタの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに示されたような措置を取ってください。

- 液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り石鹸と流水でよく洗ってください。
- 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を 15 分以上洗い、医師の診察を受けてください。
- 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよく洗い流してます。大量の水を飲んで吐いてください。それから、医師の診察を受けてください。

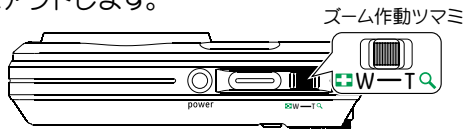
自動モードでの撮影

自動モードは、写真を撮影するもっとも簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは最適の結果が得られるように写真を自動的に最適化します。

撮影を開始するには、次を実行します。

1. モードダイヤルを自動モード( )にセットします。
2. カメラの電源を押して、オンにします。
3. 液晶モニターで写真を構成し、シャッターボタンを半分ほど押して被写体のピントを合わせます。
4. 被写体の焦点が合うと、液晶モニター中央部に緑色のフォーカスフレームが表示されます。
5. シャッターを完全に押して画像を記録します。

ズーム機能を使う

カメラには、光学ズームとデジタルズームの2つのタイプのズームが装備されています。カメラ上部のズーム作動ツマミを使用して、写真を撮影しながら被写体をズームインまたはズームアウトします。

ズームインジケータ(61ページの「デジタルズーム」を参照してください)。

光学ズームファクタがその最大値に達すると、一瞬停止します。(望遠)ズームボタンを押し下げていると、ズームはデジタルズームに自動的に切り換わります。

フラッシュを使用する

6 つのフラッシュモードがあります。機能ボタン左/
フラッシュを押すと、次のフラッシュモードが順に表示されます。

- 自動発光
  フラッシュは、必要なときに自動的に発光します。
- 赤目軽減発光
  カメラは、赤目現象を軽減するために、写真を撮影する前に一瞬フラッシュを発光します。
- 強制発光
  常に、フラッシュを発光します。
- 発光禁止
  フラッシュはオフになります。
- スローシンクロ
  このモードにより、夜間に人物の写真を撮影すると、被写体と夜間の背景が共にはっきり表示されます。
- 赤目軽減+スローシンクロ
  赤目を軽減しながらスローシンクロ撮影をするとき、このモードを使用します。

セルフタイマーを使用する

セルフタイマー機能を有効にするには、機能ボタン下/セルフタイマーを押して、2秒タイマー、10秒タイマー遅延、または連続撮影を選択します。

- 2秒タイマー
  シャッターボタンを押して2秒後に1枚の写真が撮影されます。
- 10秒タイマー
  シャッターボタンを押して10秒後に1枚の写真が撮影されます。
- 連続撮影
  メニューの連続撮影設定に基づき、シャッターボタンを押すと写真は連続して撮影されます。(59ページの「連続撮影」を参照してください)。

マクロモードを使用する

マクロモードでは、きわめて近距離から被写体の細部を撮影できます。機能ボタンの右/マクロを押してクローズアップ写真を撮影します。

- マクロ

  このモードを選択すると、レンズから5cmの被写体に焦点が合います。

露出補正

被写体と背景のコントラストが極めて大きい場合など、適正な明るさにならない場合に使用します。露出値を変更するには、次の手順を実行してください。

1. 機能ボタンの上/露出を押して、露出設定を表示します。

2. 左/右を使用して、写真の露出値を調整します。範囲はEV -2.0～EV+2.0までです(0.3刻み)。

拡張機能メニュー（クイックメニューセットアップ）

WB（ホワイトバランス）

ホワイトバランスでは、色を忠実に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度を調整します。（WB設定は、カメラが M 手動モードに入っているときのみ使用できます）。

ホワイトバランスを設定するには、次の手順に従います。

1. ボタンを押して機能メニューに入ります。WB機能が選択されていることを確認します。

2. 機能ボタンの上/下を使用して、オプションを選択します。次のオプションを選択して下さい。

- AUTO 自動
- 日光
- 曇り
- 蛍光灯
- 蛍光灯 CWF
- 白熱球
- 手動

3. 左/右ボタンを使用して他のオプションを選択するか、ボタンを一度押して選択を確定して、現在のメニューを終了します。

ISO感度

ISO機能では、光に対してカメラセンサーの感度を設定します。暗い環境でのパフォーマンスを向上するには、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります。

(ISO設定は、カメラが M 手動モードに入っているときのみ使用できます)。

ISO感度を設定するには、次の手順に従います。

1. func ok ボタンを押して機能メニューに入ります。
2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、感度選択をハイライトします。

ISO感度の高い写真は、ISO感度の低い写真より一般的にノイズが多くなります。

3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して自動、64、80、100、200、400、800、または1600の中から目的のISO感度を選択します。
4. func ok ボタンを押して設定を確認します。
5. 左/右ボタンを使用して他のオプションを選択するか、func ok ボタンを一度押して選択を確定して、現在のメニューを終了します。

画質

品質設定は、画像の圧縮比を調整します。品質設定を高くすると写真の写りは良くなりますが、多くのメモリ容量を消費します。

画像品質を設定するには、次の手順に従います。

1. (func ok) ボタンを押して機能メニューに入ります。
2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、品質機能をハイライトします。

3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、目的の設定を選択します。次の3つのオプションが選択できます。
   - BQ ： 最高画質(標準圧縮)
   - FQ ： 高画質(高圧縮)
   - NQ ： 標準(最大圧縮)
4. (func ok) ボタンを押して設定を確定します。
5. 撮影可能な写真の枚数はLCDに表示されます。
6. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して他のオプションを選択するか、(func ok) ボタンを一度押して選択を確定して、現在のメニューを終了します。

記録画素数

記録画素数設定は、画素数で画像解像度を設定します。画像解像度を高くすれば、画像品質を低下させずに大きなサイズで画像を印刷できます。

記録画素数を設定するには、次の手順に従います。

1. (func ok) ボタンを押して機能メニューに入ります。
2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、記録画素数をハイライトします。

3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、画像解像度を選択します。
4. (func ok) ボタンを押して設定を確定します。
5. 撮影可能な写真枚数が画面に表示されます。

記録される画素数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。

記録される画素数が小さくなるにしたがい、撮影枚数が多くなります。

(GEデジタルカメラで使用可能な記録画素数の設定については、36ページを参照してください)。

色彩

色彩設定により、写真を撮影するときに芸術的効果を直接設定することができます。さまざまな色トーンを試みて、写真の雰囲気を変えることができます。

(色設定は、カメラが M 手動モードに入っているときのみ使用できます)。

画像の色彩を設定するには、次の手順に従います。

1. func/ok ボタンを押して機能メニューに入ります。
2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、色機能をハイライトします。

3. 機能ボタンの上/下を使用してオプションを選択します。

   次のオプションを使用できます。

   - 自動
   - 白黒
   - セピア
   - 鮮明

4. func/ok ボタンを押して設定を確定します。

• 撮影モードのサイズ設定。(• : 使用可能)

アイコン	ファイルサイズ(ピクセル)	モデル名:							
		G2	A735	A835	A1030	A1230	E840s	E1035	E1235
	0.3M: 640×480	•	•	•	•	•	•	•	•
	1M: 1024×768	•	•	•	•	•	•	•	•
	2M: 1600×1200	•	•	•	•	•	•	•	•
	3M: 2048×1536	•	•	•	•	•	•	•	•
	5M: 2560×1920	•		•	•		•	•	
	5M(16:9): 3072×1728		•						
	6M: 2816×2112					•			•
	6M(3:2): 3072×2048		•						
	6M(16:9): 3264×1836	•		•			•		

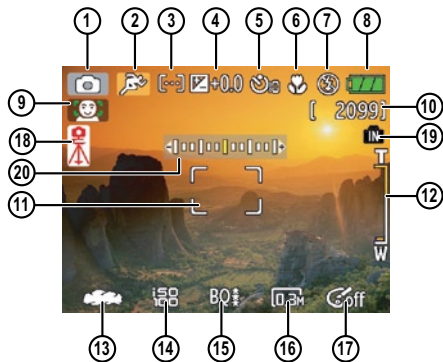
アイコン	ファイルサイズ（ピクセル）	モデル名:							
		G2	A735	A835	A1030	A1230	E840s	E1035	E1235
	7M: 3072×2304		•						
	7M(3:2): 3264×2176	•		•			•		
	7M(16:9): 3648×2052				•			•	
	8M: 3264×2448	•		•			•		
	9M(3:2): 3648×2432				•			•	
	9M(16:9): 4032×2268					•			•
	10M: 3648×2736				•			•	
	10M(3:2): 4032×2688					•			•
	12M: 4032×3024					•			•

液晶モニターディスプレイ

静止画撮影モード表示

モード: ◘ ◘M ▭ ♗ SCN ((✋))

1 撮影モードアイコン

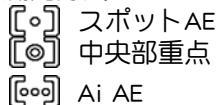
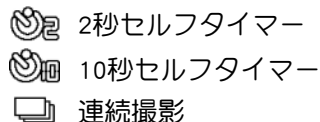
	自動		手動l
	パノラマ		ポートレート
SCENE	シーン		ブレ軽減

2 シーンアイコン、シーンモードでのみ使用可能)

	スポーツ		花火
	子供		ガラス
	室内		博物館
	葉		風景
	雪		夜景
	夕陽		夜の人物風景

3 測光方式

- スポットAE
- 中央部重点
- Ai AE

4 露出補正値

5 セルフタイマー

- 2秒セルフタイマー
- 10秒セルフタイマー
- 連続撮影

6 マクロモード表示

マクロモード

7 フラッシュモード表示

自動発光

赤目軽減発光

強制発光

発光禁止

スローシンクロ

赤目軽減+スローシンクロ

8 電池残量表示

9 顔優先アイコン

10 撮影可能枚数。

11 フォーカスフレーム

12 ズームインジケーター

13 ホワイトバランスマニュアルモードでのみ使用可能)

14 ISO感度（マニュアルモードでのみ使用可能)

15 画質

16 静止画記録画素数

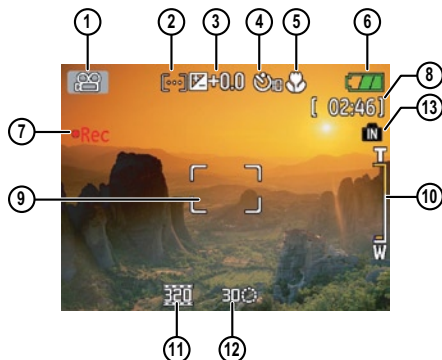
17 画像の色彩 (Mマニュアルモードでのみ使用可能)

18 バブルシャッター警告インジケータ

19 メモリカード/内部メモリー表示

20 露出補正インジケーター

動画撮影モード表示

モード:

1 撮影モード表示

2 測光方式

スポットAE

中央部重点

Ai AE

3 露出補正値

4 セルフタイマー

2秒セルフタイマー

10秒セルフタイマー

連続撮影

5 マクロモード

マクロモード

6 電池残量表示

7 録画表示

8 動画の撮影可能時間

9 ＡＦフレーム

10 ズームインジケータ

11 動画解像度

12 動画記録速度

13 メモリーカード/内部メモリー表示

最高のムービー結果を得るために、SDカードのご使用をお勧めします。内部メモリを使用して動画をコピーして保存すると、品質が低下する原因となります。

動画録画が進行中、光学ズームは固定されたままですが、1.5Xまでのデジタルズームは引き続き使用できます。

再生モード表示

モード: ▶

1 再生モードアイコン
2 DPOFファイルアイコン
3 ファイル保護アイコン
4 オーディオファイルアイコン
5 ビデオファイルアイコン
6 メモリーカード/内部メモリー表示
7 ピクチャID
8 電池残量表示
9 写真オーディオ状況

(シャッターボタンを押すと、録音が開始されます。)

(シャッターボタンを押すと、音声が再生されます。)

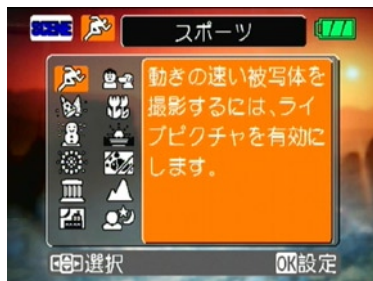
10 録音の日付/時間
11 ヒストグラム
12 絞り値
13 シャッター速度
14 露出補正値
15 メモリー容量

(現在の画素数/総画素数)

16 ISO感度
17 WB
18 静止画記録画素数

シーンモード(SCN)

シーンモードでは、ニーズに合わせて合計12のシーンタイプから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、カメラは最適の自動的に設定を行います。

シーンモードに入るには、モードダイヤルをシーンモードまで回します。シーンモードパレットが表示されます。

機能ボタンの上/下/左/右を使用してシーンを選択し、func ok ボタンを押します。

スポーツ

動きの速い被写体を撮影する時に選択します。

子供

子供やペットを撮影するには、目などを保護する為に、フラッシュは発光させないでください。

室内

室内の人物を撮影するには、背景や周辺を鮮明にします。

葉

植物を撮影する時、緑が鮮やかに表現できます。

雪

雪景色を撮影するには、白い風景を調整します。

夕日

夕陽を撮影する時、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。

花火

夜の風景や花火を撮影するには、シャッタースピードを通常より遅くします。

ガラス

透明なガラスのうしろにある被写体を撮影する。

博物館

博物館やフラッシュが禁止されている場所で撮影する。

風景

風景を撮影する時、緑色と青色が鮮やかに表現できます。

夜景

夜景を撮影するには、三脚の使用を推奨します。

夜の人物風景

夜景を背景に人物を撮影する。

シーンモードパレットに戻る

1. シーンモードで、(func ok) ボタンを押して機能メニューに入ります。

2.「シーン」メニューのオプションを選択してから、(func ok) ボタンを押すと、シーン選択メニューに戻ります

機能メニューから画質と静止画記録画素数を設定することもできます。オプションの詳細な設定については、31ページの「拡張機能メニュー」を参照してください。

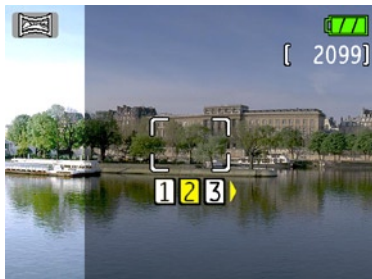
パノラマモード

パノラマモードでは、ワイドなパノラマ撮影を行います。3つの画像を1つのパノラマピクチャにつなぎ合わせることによって、美しいワイドな写真が生成されます。

パノラマピクチャをつなぎ合わせるには、以下のステップに従います。

1. モードダイヤルをパノラマモード( )にセットします。

2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、左から右へ、または右から左へ、記録する側を選択します。(func ok)ボタンを押します。

3. 液晶モニターで最初のビューを構成し、シャッターボタンを押します。

4. 最初のビューを撮影するとき2番目と3番目のビューを記録し、画像の縁が重なり合うことを確認します。

5. その後、カメラは画像を1つのパノラマに自動的につなぎ合わせます。

6. モードダイヤルを再生モードにセットして合成結果を表示します。

最適な結果を得るため、三脚の使用を推奨します。

パノラマモードで、(func ok) ボタンを押すと、画像が保存され、パノラマ撮影が終了します。(削除) ボタンを押すと、画像を削除して終了します

画像ブレ軽減モード

画像ブレ軽減モードは手ぶれの問題に取り組み、撮影する画像がぼやけないようにします。

1. モードダイヤルを に切り換えます。
2. シャッターを半分ほど押して被写体に焦点を合わせます。
3. シャッターを完全に押して画像を記録します。

 画像のブレ軽減機能を設定します。

(動画モードでのブレ軽減機能は、15 fpsにセットされているときのみ使用できます)

1. モードダイヤルを モードに切り換えます。
2. ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、画質機能をハイライトします。
4. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して15fpsを選択し、 ボタンを押して設定を確認します。
5. メニューボタンを押し、上/下を使用して画像のブレ軽減設定を選択します。
6. 上/下を使用してオフまたはオンを選択します。

   ボタンを押して確定します。

手ぶれ補正機能は暗い環境で手ぶれによって画像が不鮮明になるのを防ぐのに使用されます。カメラは同モードでISOレベルを上げてシャッター速度を向上させます。

この機能は高速中の車などの高速で移動する対象を鮮明に撮影するのに役立ちます。

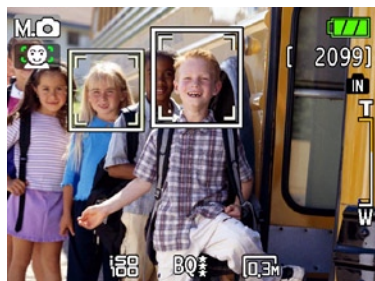
ボートなど揺れの激しい乗り物に乗っている場合、この機能は役立ちません。地上から手動で通常の写真を撮る場合にのみ有効です。

ISOレベルを上げると、写真のノイズが増える原因になります。

鮮明な写真を撮影するため、三脚を使用することが常に勧めされています。

顔優先AF

フェーシャルAFモードでは、顔ができるだけ鮮明になるように写真の人物の顔を検出します。

1. 撮影モードで、 ボタンを押すと、顔検出が有効になります。LCDに のインジケータが表示されます。
2. カメラをしっかりと持ち、カメラを被写体の方に向け顔優先AFプロセスを開始します。カメラが顔を検出すると、白い長方形のフレームが顔の回りに描かれます。顔が検出されない場合、円形のフレームが液晶表示に表示されます。(注意:最高の結果を出すには、被写体の顔を液晶表示より相対的に大きくし、被写体ができるだけカメラの正面を向くようにします)。
3. シャッターボタンを半分ほど押して被写体に焦点を合わせます。
4. シャッターボタンを完全に押して画像を記録します。

5. 顔検出が無効にするには、 ボタンを再度押します。

笑顔検出

人物の笑顔を自動的に検出して取り込む新しい「笑顔検出」機能を使えば、笑顔を撮り損なうことはありません。

1. 撮影モードでは、[笑顔アイコン]がLCDに表示されるまで [笑顔アイコン] ボタンを押し続けます。このアイコンはカメラが笑顔検出モードであることを示しています。
2. 対象の人物の顔が検出され、四角いボックスに囲まれるまで、カメラを対象に向けます。シャッターボタンを押したままにしてから、シャッターボタンから指を放します。カメラは対象の人物が笑顔になるまで『待機』します。
3. 対象の人物が笑顔になると、カメラはシャッターを自動的に切って、写真を取り込みます。
4. 自動シャッター機能を無効にするには、シャッターを再度押します[笑顔アイコン]。

笑顔検出を正しく機能させるためには、カメラが人物の顔を検出する必要があります。

最適な検出結果を得るためには、対象物を画面いっぱいに収めてください。

まばたき検出

まばたき検出機能はデフォルトでオンになっています。写真撮影後、まばたきが検出されると、警告メッセージがポップアップ表示されます。

1. 写真モードで、ボタン (menu) を押すと、Photo（写真）メニューに入ります。
2. 上下のナビゲーションボタンを使って、「Blink detection」（まばたき検出）設定を選択します。
3. 右のナビゲーションボタンを使って、サブメニューに入ってから、「On」（オン）のオプションを選択します。
4. ボタン (func ok) を押し、設定を確証して、メニューを終了します。
5. 「まばたき検出」のインジケータがLCDに表示されます。
6. シャッターボタンを最後まで押すと、写真を撮影できます。だれかがまばたきすると、カメラはまばたき検出の警告メッセージを自動的に表示します。

最適な結果を得るためには、対象物を画面いっぱいに収めてください。

静止画と動画を観る

記録した静止画と動画クリップを液晶表示で見るには、以下の手順に従います。

1. カメラを再生モードにします。最後に記録した写真または動画クリップが表示されます。
2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、内部メモリまたはメモリカードに保存された写真またはビデオクリップをスクロールします。
3. 選択されたビデオクリップを再生するには、func ok ボタンを押して動画ー再生モードに入ります。
4. 機能ボタンの左/右ボタンを使用してプログラムボタンを選択し、func ok ボタンを押して選択を確認します。各ボタンの機能は、次で説明します。

1 終了
2 再生
3 スローモーション
4 最初のフレーム
5 前のフレーム
6 次のフレーム
7 動画ーを編集する

動画再生の間、画面に操作ガイドが表示されます。パッドを使用し、それに従って機能を実行することができます。

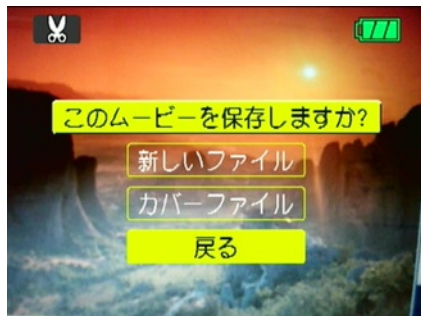
スローモーション再生の間、機能ボタンの左/右ボタンを使用して再生速度を調整できます。

動画再生の間、機能ボタンの上/下ボタンを使用して再生音量を調整できます。

スローモーション再生を使用しているとき、音量はミュートになります。

動画を編集する

編集 プログラムボタンを押して次の画面に入り、左側のボタンを使用して再生を編集します。機能ボタンの上/下ボタンを使用して、ボタンを選択します。

1. 1stボタンを選択し機能ボタンの左/右ボタンを使用して、再生が新しく開始するときを指定します。
2. 2ndボタンを選択し機能ボタンの左/右ボタンを使用して、再生が新しく終了するときを指定します。
3. ファイルを保存するには、 ボタンを選択し func ok ボタンを押します。
4. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、オプションを選択します。

- 新しいファイル:新しいファイルに名前を付けて保存します。
- カバーファイル:元のファイルを上書きします。
- 戻る:ファイルを保存せずに、編集画面に戻ります。

5. func ok ボタンを押して設定を確定します。

編集画面を終了するには、[戻る]ボタンを選択し(func ok)ボタンを押します。

編集された動画は、1秒以上の長さで保存する必要があります。

十分なバッテリ残量があり、メモリの空き容量が1GB以上あれば、動画撮影は最大30分間の映像を記録できます。

サムネイルビュー

再生モードに入っているとき、ズーム作動ツマミをワイド位置(W)に移動すると、画面に写真と動画クリップのサムネイルが表示されます。

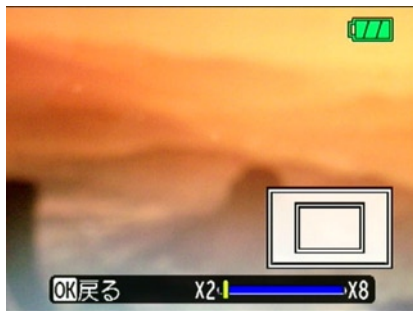
1. ズーム作動ツマミを使用して2x2、3x3、および4x4サムネイル表示を切り換えます。
2. 機能ボタンの上/下/左/右を使用して表示する写真または動画クリップを選択します。

LCDに のインジケータが表示さ れている場合、現在の表示されているのはムービーファイルです。

(func ok)ボタンを押すと、プレビューアイコンは元の画像サイズに復元されます。

ズーム再生を使用する(スチール写真専用)

ズーム作動ツマは、再生中にも使用できます。これにより、8Xまで写真を拡大することが可能です。

1. カメラを再生モードにします。
2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、拡大する写真を選択します。
3. ズーム作動ツマを望遠位置(T)まで移動します。
4. ズーム作動ツマを使用してズームインまたはズームアウトします。ズームインジケータまたはパンボックスが画面に表示されます。
5. ボタンを使用して、画像を固定します。

6. (func ok)ボタンを押して画像を元の倍率に戻します。

ムービー画像は拡大できません。

消去ボタンを使用する

カメラには、再生メニューに入らずに静止画や動画クリップを消去できる、消去ボタン 🗑 が付いています。

静止画または動画を消去するには、以下の手順に従います。

1. カメラを再生モードにします。
2. ボタンを使用して、消去する静止画/動画クリップを選択します。
3. 🗑 ボタンを押します。消去画面が表示されます。

4. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、はいまたはいいえを選択します。func ok ボタンを押して確定します。

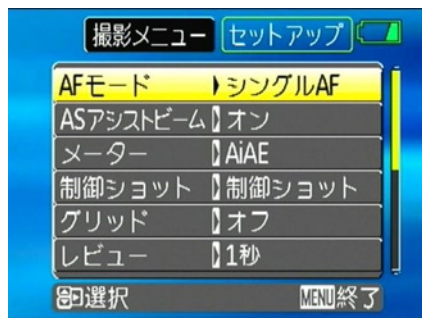
消去された静止画/動画は回復することができません。

1回の操作ですべての静止画/動画クリップを消去するには、67ページのすべて消去機能を参照してください。

ピクチャに音声ファイルが添付されている場合、 のインジケータが表示されます。添付されている音声ファイルだけを消去するか、ピクチャと音声ファイルの両方を削除するかを選択できます。

静止画像メニュー

モード: SCN M

撮影モードで、ボタンmenuを押して撮影メニューに入ります。

設定を行うには、以下の手順に従います。

1. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、メニューアイテムをスクロールします。
2. 機能ボタンの右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、オプションを選択します。
4. func ok ボタンを押して設定を確定し、メニューを終了します。

各設定の詳細については、次の選択を参照してください。

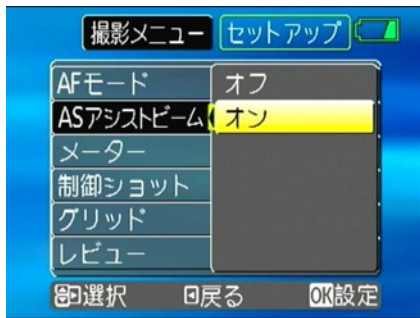
AFモード(自動フォーカスモード)

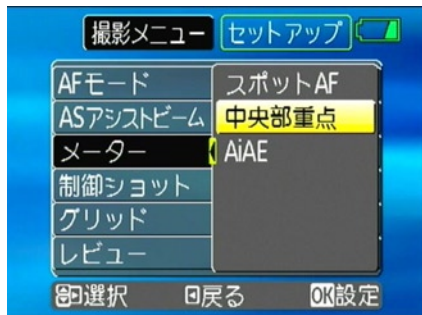
写真を撮影している間、この設定を使用して自動フォーカスメカニズムを制御します。

次の2つのオプションを使用できます。

- シングルAF:AFフレームが液晶表示の中央に表示されると、被写体に焦点が合います。
- マルチAF:カメラは焦点を見つけるために、広い領域で被写体に自動的に焦点を合わせます。

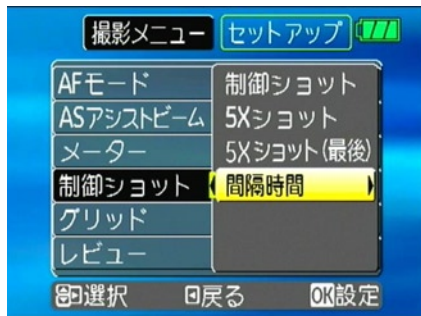
AFアシストビーム

この設定を使用すると、暗い条件下でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。

測光

この設定を使用して、露出を取得する領域を選択します。

次の3つのオプションを使用できます。

- スポットAE (スポット自動露出)
- 中央部重点
- AiAE (人工知能AE)

連写

この設定を使用して連続撮影を行います。このモードに入ると、この機能を使用するためにシャッターボタンを連続して押し続ける必要があります。

次の4つのオプションを使用できます。

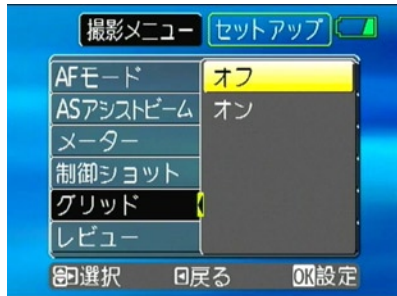
- 連写:単一ショットのみを記録します。
- 5ショット:最大5枚の連続写真を記録します。
- 最後の5ショット:シャッターボタンを放すまで写真を連続して記録しますが、最後の5枚のみが記録されます。

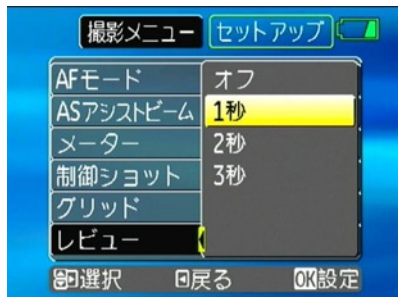
- 間隔時間 :事前定義した間隔で、写真を自動的に記録します。

すばやい連写を有効にするために、フラッシュはこのモードでは機能しないように設計されています。

このモードを有効にするには、29ページで説明したように、カメラをセルフタイマーで連写モードに入れる必要があります。

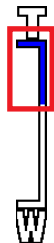
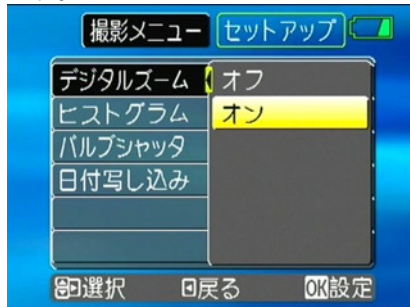
グリッド

写真を撮影しているとき、この設定を使用してフレームグリッドのオンまたはオフを切り換えます。これにより、被写体の構図を決めることができます。

レビュー

この設定により、静止画を撮影した後すぐに静止画を見直すことができます。静止画は液晶表示に一定時間表示されたままになっていますが、この時間は調整が可能です。

次の3つのオプションを使用できます。

- オフ
- 1秒
- 2秒
- 3秒

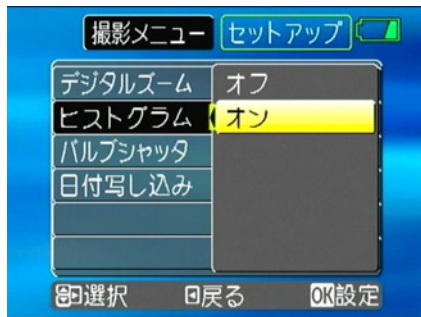
デジタルズーム

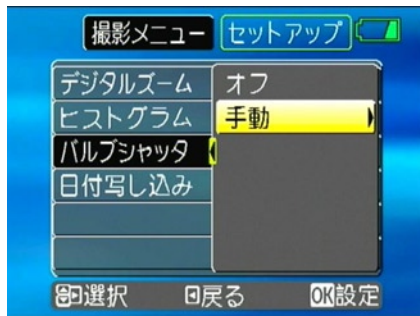
この設定を使用して、デジタルズーム機能の有効または無効を切り換えます。無効になっているとき、光学ズームのみが有効になります。

デジタルズームインジケータ

- オフ:グレー
- オン:赤

ヒストグラム

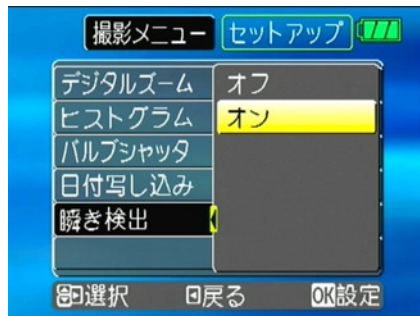
ヒストグラムは、写真を撮影している間、露出をチェックするために使用されます。この設定を使用して、液晶表示でのヒストグラム表示の有効または無効を切り換えます。

- オフ
- オン

バルブシャッタ

バルブシャッターでは、シャッターボタンを押している間、ずっとシャッターを開いています。従って、露出を完全に制御できます。（バブルシャッタモードは M 手動モードでのみ使用可能です。）

- 手動:2~30秒の範囲内で長い露出時間を設定するには、以下の手順に従います。

長時間露出では、三脚の使用を推奨します。

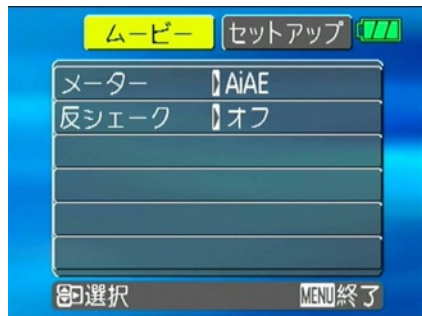
まばたき検出

まばたき検出機能はデフォルトでオンになっています。写真撮影後、まばたきが検出されると、警告メッセージがポップアップ表示されます。

- オフ
- オン

日付写し込み

画像に日付/時間スタンプを写し込みます。

- オフ
- 日付
- 日付/時間

動画ーメニュー

モード: 🎥

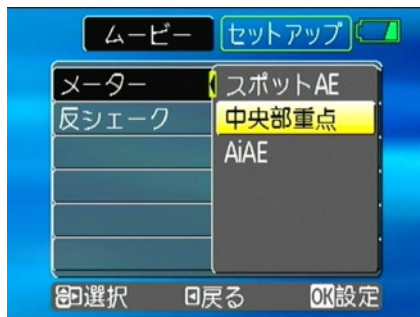
撮影モードで、(menu)ボタンを押して動画ーメニューに入ります。

設定を行うには、以下の手順に従います。

1. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、メニューアイテムをスクロールします。
2. 機能ボタンの右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、オプションを選択します。
4. (func ok)ボタンを押して設定を確定し、メニューを終了します。

各設定の詳細については、次の項目を参照してください。

測光

様々な光量での測光モードを設定します。

以下の3つのオプションが用意されています:

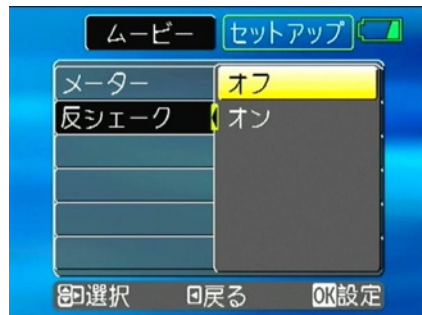
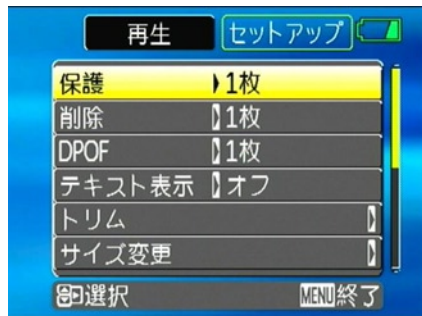
- •測光の停止
- •中央部重点平均測光
- •人工知能自動露出（Ai AE）

動画

手ぶれ補正については46ページを参照してください。

ムービーモードでは、録画メニューを使って手ぶれ補正のオンとオフを切り替えられます。

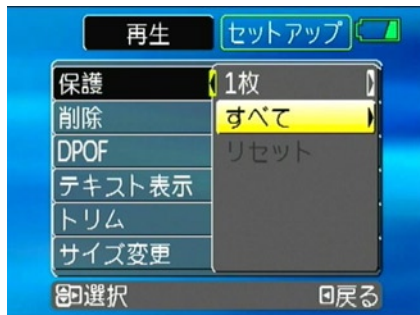
再生メニュー

モード: ▶

再生モードで、menuボタンを押して再生メニューに入ります。

設定を行うには、以下の手順に従います。

1. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、メニューアイテムをスクロールします。
2. 機能ボタンの右ボタンを押して設定に入ります。

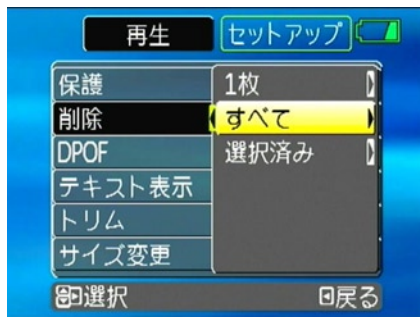
各設定の詳細については、次の選択を参照してください。

保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して1つまたはすべてのファイルをロックできます。

静止画または動画を保護/保護解除するには、以下の手順に従います。

1. カメラを再生モードにして、保護したい静止画または動画を表示します。
2. 再生メニューから保護設定を選択します。
3. 機能ボタンの上/下ナビゲーションボタンを使用して1枚を選択しこの写真/ビデオを保護するか、すべてを選択して内部メモリまたはメモリカードのすべての写真/ビデオを保護します。次に、右ナビゲーションボタンを押します。
4. (func ok)ボタンを使用してはいを選択し表示された写真/ビデオをロックするかロック解除を選択してロック解除し、上/下ナビゲーションボタンを使用して戻るを選択して再生メニューに戻ります。
5. 画面上部にキー( )アイコンが表示されると、写真/ビデオが保護されていることを示します。
6.「リセット」を選択すると、保護モードに指定されたすべてのファイルの保護をキャンセルします。

消去

ファイルを削除するには以下の3つの方法があります：（ファイルを削除すると、復元できないことに注意してください。）

•1枚削除:

1.「削除」メニューで、「1枚削除」を選択してから、「右」ボタンを押します。
2.「左/右」ボタンを使って、削除する写真ファイルまたはムービーファイルを特定します。「上/下」ボタンを使って（ファイルを削除する場合は）「はい」を、

（前のメニューに戻る場合は）「いいえ」を選択して、func ok ボタンを押すと、選択が確定されます。

•すべて削除:

1. 「削除」メニューで、「すべて削除」を選択してから、「右」ボタンを押します。
2. 「左/右」ボタンを使って（すべてのファイルを削除する場合は）「はい」を、(キャンセルして前のメニューに戻る場合は）「いいえ」を選択します。

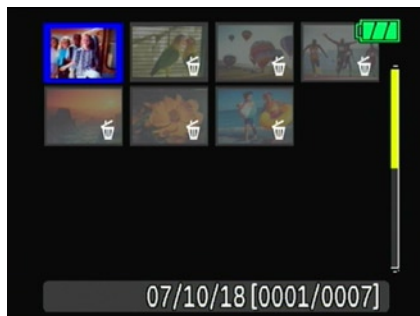
•選択したファイルの削除:

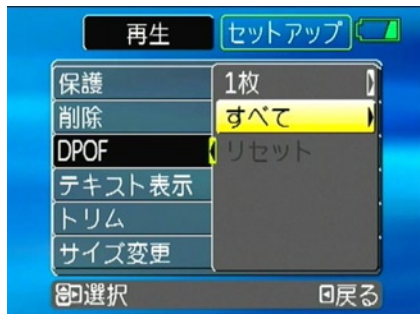
1. 「削除」メニューで、「選択したファイルの削除」を選択してから、「右」ボタンを押します。
2. 「上/下/左/右」ボタンを使って、削除するファイルを特定して、func ok ボタンを押すと、削除するファイルをマークできます。削除するようにマークされたファイルにはインジケータが表示されます。

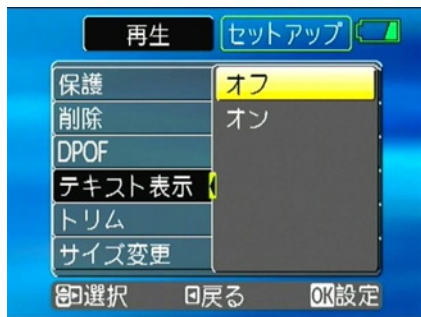
（「ズーム」ボタンを使えば、見やすいように画像アイコンのサイズを変更できます。）

3. ボタンを押すと、選択したファイルを削除できます。ファイルの削除を確定するには「はい」を、前のメニューに戻るには「いいえ」を選択します。

“ ” のインジケータはファイルが保護されていることを示します。ファイルの保護を解除しない限り、ファイルは削除できません。

ファイルを削除すると、DPOF設定はリセットされます。

DPOF
(デジタルプリントオーダーフォーマット)

DPOFにより印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリカードに保存することにより、メモリカードを静止画店に手渡すだけで済み、どの写真を印刷するかをわざわざ指摘する必要はありません。

テキスト表示(情報ボックス)

この設定を使用して、撮影した写真のテキスト表示の有効または無効を切り換えます。画面には、ヒストグラム表示、絞り値、シャッター速度、露出補正値、静止画記録画素数、画質、およびISO感度の情報が表示されます。(表示アイコンについては、38ページを参照してください)。

トリム

トリム設定により、目的の部分を調整するために写真をトリミングし、それを新しい写真として保存できます。

写真をトリミングするには、次の手順に従います。

1. 前に説明したように、再生メニューからトリム設定を選択します。
2. 「左/右」ボタンを使って、クロップして、LCDに表示されたい写真を特定します。
3. ズームスクロールホイールとナビゲーションボタンを使用して、トリミングボックスを新しい写真の位置とサイズに合うように調整します。

4. シャッターボタンを押し新しい写真としてLCDスクリーンに表示する写真を保存するか、menuボタンを押して取り消し再生メニューに戻ります。

サイズ変更

この設定により、写真を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい写真として保存することができます。

1. 前に説明したように、再生メニューからサイズ変更設定を選択します。

2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、サイズ変更する写真を選択します。
3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して解像度(1024X768または640X480)を選択し画像をサ

イズ変更するか、戻るを選択して取り消し再生メニューに戻ります。

4. (func ok) ボタンを押して設定を確定します。

画像をサイズ変更すると、選択したサイズの画像を含む新しいファイルが作成されます。元の画像を含むファイルもそのままメモリに保存されます。

「画像を編集できません」というメッセージが表示されたら、現在の画像をサイズ変更できないことを意味します。

回転

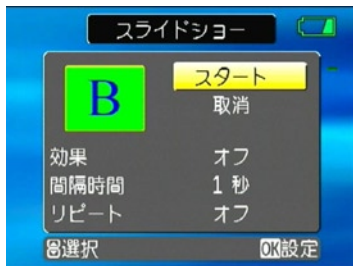
この設定を使用して、写真の方向を変更できます。

1. 再生メニューから回転設定を選択します。
2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、回転する写真を選択します。
3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して回転の方向を選択するか、戻るを選択して取り消し再生メニューに戻ります。
4. (func ok) ボタンを押して設定を確定します。

回転された画像は新しいファイルとして保存され、元の画像はメモリにそのまま残ります。

スライドショー

この設定により、保存されたすべての写真をスライドショーとして表示できます。

1. 前に説明したように、再生メニューからスライドショー設定を選択します。
2. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して効果、間隔時間、またはリピートを選択し、機能ボタンの左/右ボタンを使用して設定を調整します。

3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用してスタートを選択しスライドショーを実行するか、取消を選択して再生メニューに戻ります。
4. (func ok)ボタンを押して設定を確定します。

赤目補正機能

この設定を使用して、写真の赤目現象を補正します。

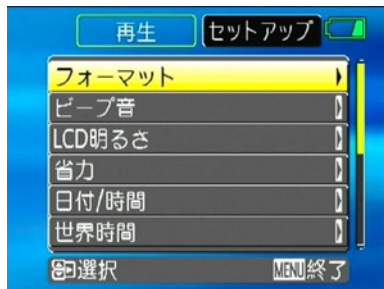
1. 再生メニューから赤目補正機能設定を選択します。
2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、赤目を補正する画像を選択します。
3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用しはいを選択した画像を固定するか、戻るを選択して取り消し再生メニューに戻ります。

4. (func ok) ボタンを押して設定を確定します。

最高の結果を出すには、被写体の顔を液晶表示より相対的に大きくし、被写体ができるだけカメラの正面を向くようにすると、赤目現象は大幅に補正できます。

設定メニュー

モード: (icons) SCN M

セットアップメニューは、すべてのモードで使用できます。どれかのモードで(menu)ボタンを押し、ナビゲーションボタンを使用してセットアップメニューを選択します。

設定を行うには、以下の手順に従います。

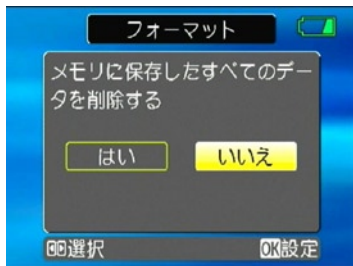
1. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、メニューアイテムをスクロールします。
2. 機能ボタンの右ボタンを押して設定に入ります。

各設定の詳細については、次の選択を参照してください。

フォーマット

フォーマット機能により、メモリカード、および保護された写真とビデオクリップを含む内部メモリのすべてのデータを消去できます。

この設定を使用するには、以下の手順に従います。

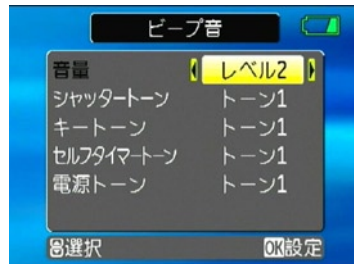
1. セットアップメニューからフォーマット設定を選択します。
2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用してはいまたはいいえを選択し、(func ok) ボタンを押して確認します。

3. 現在のメディアがフォーマットされます。

ビープ音

この設定を使用して、ボタンを押したときになるビープ音の音量を調整し、シャッター、ボタン、セルフタイマー、および電源オン/電源オフのトーンを変更します。

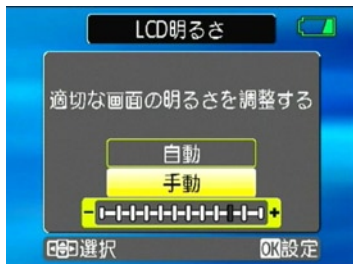
この設定を変更するには、以下の手順に従います。

1. セットアップメニューからビープ音設定を選択します。

2. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して音量、シャッタートーン、キートーン、セルフタイマートーン、および電源トーンフィールドを切り換えます。

3. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して音量を調整し、それぞれのトーンスタイルを変更します。(func ok)ボタンを押して確定します。

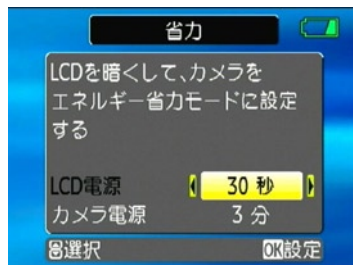
液晶の明度

この設定を使用して、液晶表示の明度を調整します。

1. 前に説明したように、セットアップメニューから液晶の明度設定を選択します。
2. 「上/下」ボタンを使って、「自動」または「手動」輝度調整を選択してから、(func ok) を押して、選択を確定します。

3.手動調整では、「左/右」ボタンを使って輝度を調整します。

省電力

この設定により、電力を節約し、電池を最大限に使用することができます。以下のステップに従って液晶表示をオフにすると、カメラは一定時間の後自動的に非アクティブになります。

1. セットアップメニューから省電力設定を選択します。
2. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、液晶電源とカメラ電源フィールドを切り換えます。

3. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、自動的に電源オフになるまでのアイドル時間

を指定します。レベルバーは、次のアイドル時間に対応します。

• 液晶オフ:
30秒、1分、2分、および常にオン。

• カメラオフ:
3分、5分、10分、および常にオン。

4. (func ok)ボタンを押して確定します。

日付/時間

25ページの「日付と時間を設定する」セクションを参照してください。

世界時間

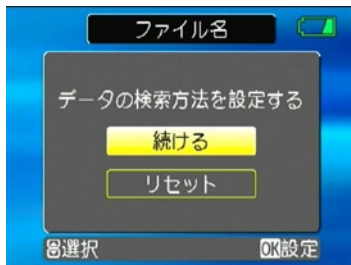
世界時間設定は、海外旅行をしているときには役に立つ機能となります。この機能により、海外にいる間液晶表示にローカル時間を表示することができます。

1. セットアップメニューから世界時間設定を選択します。世界時間画面が表示されます。

2. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、現在住んでいる町(🏠)と旅行先(✈)フィールドを切り換えます。

3. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、目的の時間帯にもっとも近い市を選択します。(func ok)ボタンを押して確定します。

ファイルナンバリング

写真またはビデオを記録した後、カメラは数字接尾辞でファイルを自動的に保存します。

この設定を選択	以下のように、連番が発行され、新しいファイルに割り当てられます:
連続	撮影した最後の写真の次の番号
リセット	カウンタを1にリセットして、新しいフォルダのファイルをメモリカードに保存します。

言語

26ページの「言語を設定する」セクションを参照してください。

ビデオシステム

この設定を使用して、現在の領域のビデオシステムを決定します。

1. セットアップメニューからビデオシステム設定を選択します。
2. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、NTSCまたはPALを選択します。(func ok) ボタンを押して確定します。

ビデオ出力信号は、異なる地域の標準に対応するように、NTSCまたはPALに切り換えることができます。適切な設定は、地域により異なります。

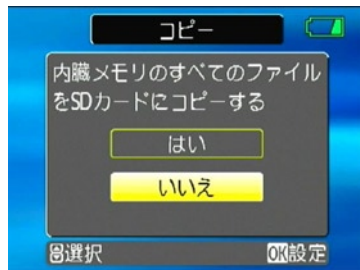
NTSC: 米国、カナダ、台湾、日本など。

PAL: ヨーロッパ、アジア(台湾を除く)、オセアニアなど。

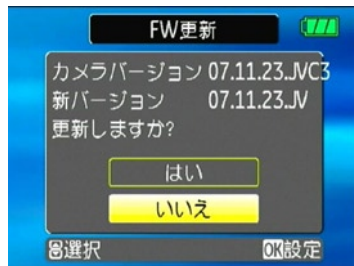
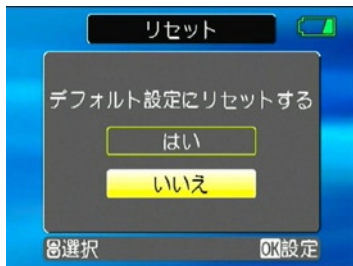
注意:正しいビデオシステムが選択されている場合、TV出力は正しく表示されません。

カードへのコピー(内部メモリをメモリカードにコピー)

この設定を使用して、内部メモリに保存されたファイルをメモリカードにコピーします。

1. 前に説明したように、セットアップメニューからメモリカードにコピー設定を選択します。
2. 機能ボタンの上/下ボタンを使用してはいまたはいいえを選択し、(func ok)ボタンを押して確定します。

リセット設定

この設定を使用して、カメラをその初期設定に復元します。

1. 前に説明したように、セットアップメニューからリセット設定を選択します。
2. 機能ボタンの上/下ボタンを使用してはいまたはいいえを選択し、 (func ok) ボタンを押して確定します。

FW/バージョン(ファームウェアバージョン)

この設定を使用して、現在のカメラファームウェアバージョンを表示します。

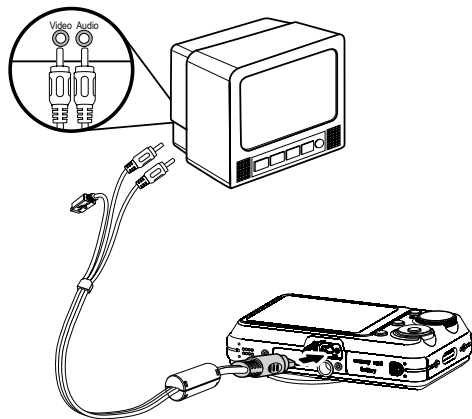
1. 前に説明したように、セットアップメニューからFW/バージョン設定を選択します。

2. SDカードに新バージョンのファームウェアが用意されている場合、必要に応じてアップグレードしてください。

TV に接続する

カメラをテレビ、コンピュータ、またはプリンターに接続して撮影した写真を表示することができます。

AVケーブルを使用することによって、記録した画像をテレビに表示することができます。以下のステップに従って、付属のAVケーブルをテレビに接続します。

1. テレビビデオ標準に一致するように[NTSC]または[PAL]を選択し77ページを参照)、カメラをオフにします。
2. AVケーブルの一方の端をカメラのUSB/AVアウトポートに接続します。
3. ケーブルの一方の端のプラグを、テレビのオーディオおよびビデオ入力ポートに接続します。
4. カメラとテレビをオンにします。

AVケーブルを接続する前に、カメラとテレビがどちらもオフになっていることを確認します。

完全に充電された電池を使用して、接続している間カメラが突然オフにならないようにします。

コンピュータに接続する

カメラに付属するUSBケーブルとArcSoftソフトウェア(CDROM)を使用して、写真をコンピュータにコピー(転送)します。

USBモードを設定する

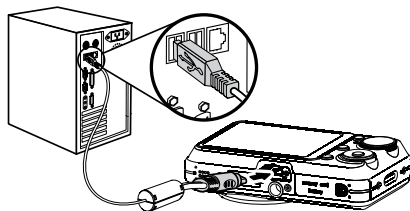
カメラのUSBポートはPCまたはプリンタと接続するように設定できるため、次のステップによりカメラがPCに接続するように正しく設定されていることを確認できます。

1. (menu)ボタンを押し機能ボタンの上/下ボタンを使用してUSB接続を選択し、右ナビゲーションボタンを押します。
2. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、PCを選択します。
3. (func ok)ボタンを押して設定を確定します。

PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に検出します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、一般的なフォルダやファイルをコピーするPCのディレクトリにドライブのフォルダとファイルをコピーします。

USBケーブルを使用することによって、記録された静止画と動画をPCに転送できます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. ArcSoftソフトウェアがインストールされているコンピュータを起動します。
2. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
3. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB/AVアウトポートに接続します。
4. ケーブルの他の端をPCの空きUSBポートに接続します。

5. 転送が完了したらカメラを取り外します。

USBオプションが[PC]に設定されている場合:

カメラをオフにし、USBケーブルを抜きます。

USBオプションが[PC (PTP)]に設定されている場合：

カメラをオフにしてUSBケーブルを抜く前に、以下で説明するように、システムからカメラを取り外します。

Window XP Home Edition/XP

Professional

タスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン( )をクリックし、表示されるメニューから[USBマスストレージデバイスの安全な取り外し]を選択します。

Window 2000 Professional

タスクバーの [ハードウェアのアンプラグまたは取り出し]アイコン( )をクリックし、表示されるメニューから[USBマスストレージデバイスの停止]を選択します。

Macintosh

ごみ箱に無題のアイコンをドラッグします。
(“Untitled” (無題))

PictBridge互換プリンタに接続する

PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。

プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した写真を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

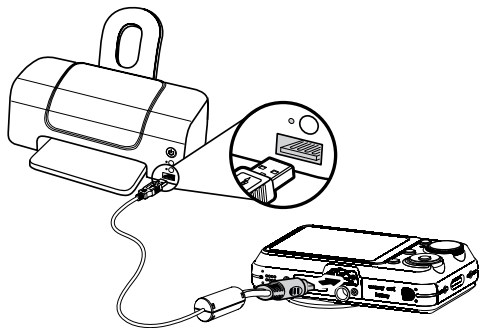
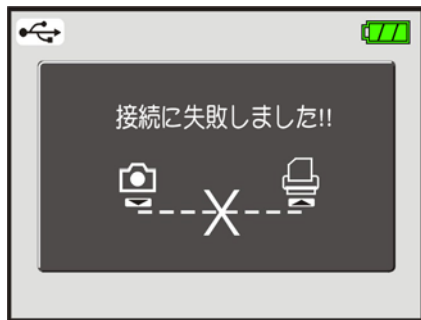
USBモードを設定する

カメラのUSBポートはPCまたはプリンターと接続するように設定できるため、次のステップによりカメラがプリンターに接続するように正しく設定されていることを確認できます。

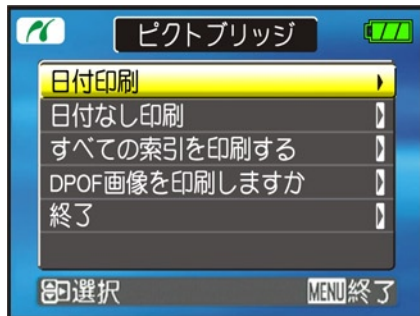
1. menuボタンを押し上/下を使用してUSB接続を選択し、機能ボタンの右ボタンを押します。
2. 上/下を使用して、プリンターを選択します。
3. func okボタンを押して設定を確定します。

カメラの電源をオフにするたびに、USBモードはPCモードに自動的に戻ります。

カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSBポートに接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSBポートに接続します。

カメラがPictBridge互換プリンターに接続されていない場合、液晶表示に次のエラーメッセージが表示されます。

USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンタの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、Pict-Bridgeメニューが表示されます。

機能ボタンの上/下ボタンを使用してメニューアイテム選択し、機能ボタンの右ボタンを押しをます。

各設定の詳細については、次の選択を参照してください。

日付印刷

カメラの日付と時間を設定している場合、日付記録が撮影した写真と共に保存されます。以下のステップに従うことで、日付入り写真を印刷できます。

1. PictBridgeメニューから、日付入り印刷を選択します。次の画面が表示されます。

2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、写真をスクロールします。
3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、現在表示されている写真の印刷枚数を選択します。
4. (func ok)ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. はいを選択して印刷を確認するか、いいえで取り消します。(func ok)ボタンを押します。

日付なし印刷

この設定を使用すると、日付を入れずに写真が印刷されます。

1. PictBridgeメニューから、Print without date(日付なし印刷)を選択します。次の画面が表示されます。

2. 機能ボタンの左/右ボタンを使用して、画像をスクロールします。
3. 機能ボタンの上/下ボタンを使用して、現在表示されている画像の印刷枚数を選択します。

4. (func ok)ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. はいを選択して印刷を確認するか、いいえで取り消します。(func ok)ボタンを押します。

すべての索引を印刷する

この設定を使用して、カメラに現在あるすべての写真を表示するすべての見出しを印刷できます。

1. PictBridgeメニューから、見出しの印刷を選択します。次の画面が表示されます。

2. はいを選択して印刷を確認するか、いいえで取り消します。(func ok)ボタンを押します。

DPOF(デジタルプリントオーダーフォーマット)の印刷

DPOF印刷を使用するには、前もってDPOF設定を使用して印刷する写真を選択する必要があります。69ページの「DPOF」セクションを参照してください。

1. PictBridgeメニューから、DPOFの印刷を選択します。次の画面が表示されます。

2. はいを選択して印刷を確認するか、いいえで取り消します。(func ok)ボタンを押します。

終了

PictBridgeメニューを終了するには、終了を選択します。「USBケーブルの削除」メッセージが表示されます。

カメラとプリンターからUSBケーブルを取り外します。

仕様：G2

「設計と仕様は、将来予告なしに変更することがあります」。

有効画素数		8.0メガピクセル
撮像素子		1/2.5型CCD 総画素数8.31メガピクセル
レンズ	焦点距離	6.75mm ~ 27mm
	[35mmフィルム換算]	[38mm ~ 152mm]
	開放F値	F3.5 ~ F5.15
	レンズ構成	14エレメント(11グループ)
	光学ズーム	4 倍
	撮影範囲	ノーマル: (ワイド) 60cm ~∞; (望遠) 80cm ~ ∞ マクロ: (ワイド) 6cm ~ ∞
ブレ軽減		電子式ブレ軽減
デジタルズーム		4.5倍 (光学4倍と併用して最大18倍)
録画ピクセル数	記録画素数：静止画	8MP、7MP (3:2)、6MP(16:9)、5MP、3MP、2MP、1MP、0.3MP
	動画	640×480ピクセル: 30fps/15fps、320×240ピクセル: 30fps/15fps

画像圧縮		最高、微細、ふつう
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート		◯
ファイル形式	静止画像	Exif 2.2 (JPEG)
	ムービー	画像圧縮: MPEG4、オーディオ: G.711 [Monaural]
	オーディオ	WAVE [Monaural] (Max 60秒)
撮影モード		自動、手動、画像反シェーク、ムービー、シーン(スポーツ、子供、インドア、葉、雪、夕陽、花火、ガラス、博物館、風景、夜景、夜の人物撮影)、パノラマ、肖像
笑顔検出		◯
まばたき検出		◯
顔優先AF		◯
赤目補正機能		◯
パノラマ合成撮影		◯
液晶モニター		2.7型　TFTカラー液晶モニター (230,400 ピクセル)
ISO感度		自動、ISO 64/100/200/400/800/1600

AF方式	シングルAF、マルチAF(TTL 9ポイント)、フェーシャルAF、AF逆光(オン/オフ)
光度メーター方式	人口知能AE (Ai AE)、中央部重点平均、スポット(フレームの中心部に固定)
露出コントロール方式	プログラムAE(AEロックを使用できます)
露出補正	±2 EV(1/3ステップ刻み)
シャッター速度	4 ~ 1/2000秒 (手動30秒)
連写	約1.8 fps 画像サイズ大/高画質モード
再生モード	シングル写真、索引(4/9/16サムネイル)、スライドショー、ムービー (スローモーション可能) 、ズーム(約2X~8X)、オーディオ、ヒストグラム表示
ホワイトバランスコントロール	自動(AWB)、日光、曇り、蛍光灯、蛍光灯CWF、白熱球、手動
内部フラッシュ(撮影範囲)	自動/レッドアイ削除/強制フラッシュ/フラッシュなし/スロー同期/レッドアイ削除+スロー同期
	Gno. 5.9 (ISO 100)
	(撮影範囲) ワイド: 約0.3m~3.3m / 望遠: 約0.3m~2.7m (ISO 400)

記録メディア	内部メモリー: 26MB
	SDカード/SDHCカード(4GBまでサポート)
その他の機能	PictBridge、Exif印刷サポート、言語設定 (23言語)
入出力端子	USB2.0/AV-OUT (統合専用コネクタ)
電源	充電式リチウムイオン電池GB-20、3.7V 750mAh
バッテリ充電器	入力電圧 : AC 100～240V、50/60Hz、100mA 出力電圧 : DC 4.2V、500mA
撮影枚数	約200ショット(CIPA標準に基づく)
動作環境	温度 : 0~40℃、湿度: 0~90%
寸法(幅 x 高さ x 奥行き	91mm x 60mm x 18 mm
重量	約120g (本体のみ)

仕様：A735/A835

「設計と仕様は、将来予告なしに変更することがあります」。

有効画素数		7.07 / 8.0 メガピクセル
撮像素子		1/2.5型CCD　総画素数7.40 / 8.50メガピクセル
レンズ	焦点距離	6.1mm ~ 18.3mm
	[35mmフィルム換算]	[36mm ~ 108mm]
	開放F値	F2.8 ~ F4.8
	レンズ構成	7エレメント(6グループ)
	光学ズーム	3 倍
	撮影範囲	ノーマル: 60cm ~ ∞ マクロ: (ワイド) 5cm ~ ∞; (望遠) 40cm ~ ∞
ブレ軽減		電子式ブレ軽減
デジタルズーム		4.5倍 (光学3倍と併用して最大13.5倍)

録画ピクセル数	記録画素数：静止画	A735: 7MP, (3:2)6MP, (16:9)5MP, 3MP, 2MP, 1MP, 0.3MP
		A835: 8MP, (3:2)7MP, (16:9)6MP, 5MP, 3MP, 2MP, 1MP, 0.3MP
	動画	640x480ピクセル: 30fps/15fps 320x240ピクセル: 30fps/15fps
画像圧縮		最高、微細、ふつう
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート		○
ファイル形式	静止画像	Exif 2.21 (JPEG)
	ムービー	画像圧縮: JPEG(AVI)、オーディオ: G.711 [Monaural]
	オーディオ	WAVE [Monaural] (Max 60秒)
撮影モード		自動、手動、画像反シェーク、ムービー、シーン(スポーツ、子供、インドア、葉、雪、夕陽、花火、ガラス、博物館、風景、夜景、夜の人物撮影)、パノラマ、肖像
笑顔検出		○
まばたき検出		○
顔優先AF		○

赤目補正機能	○
パノラマ合成撮影	○
液晶モニター	2.5型　TFTカラー液晶モニター（153,600 ピクセル）
ISO感度	自動、ISO 80/100/200/400/800/1600
AF方式	シングルAF、マルチAF(TTL 9ポイント)、フェーシャルAF、AF逆光(オン/オフ)
光度メーター方式	人口知能AE（Ai AE)、中央部重点平均、スポット(フレームの中心部に固定)
露出コントロール方式	プログラムAE(AEロックを使用できます)
露出補正	±2 EV in 1/3 steps
シャッター速度	4 ~ 1/2000秒 (手動30秒)
連写	約 1.8 fps (画像サイズ大/高画質モード)
再生モード	シングル写真、索引(4/9/16サムネイル)、スライドショー、ムービー（スローモーション可能）、ズーム(約2X ~ 8X)、オーディオ、ヒストグラム表示
ホワイトバランスコントロール	自動(AWB)、日光、曇り、蛍光灯、蛍光灯CWF、白熱球、手動

内部フラッシュ (撮影範囲)	自動/レッドアイ削除/強制フラッシュ/フラッシュなし/スロー同期/レッドアイ削除+スロー同期
	Gno. 6.5 (ISO 100)
	(撮影範囲) ワイド: 約0.3m~4.6m / 望遠: 約0.3m~2.7m (ISO 400)
記録メディア	内部メモリー: 32MB
	SDカード/SDHCカード(4GBまでサポート)
その他の機能	PictBridge、Exif印刷サポート、言語設定 (23言語)
入出力端子	USB2.0/AV-OUT (統合専用コネクタ)
電源	単三アルカリ電池 (2個使用)
	単三NiMH電池[別売]
撮影枚数	単三アルカリ電池: 約130ショット(CIPA標準に基づく) 単三NiMH電池: 約400ショット(CIPA標準に基づく)
動作環境	温度：0~40℃、湿度: 0~90%
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)	92mm x 60mm x 25 mm
重量	約133g (本体のみ)

仕様：A1030/A1230

「設計と仕様は、将来予告なしに変更することがあります」。

有効画素数		10.1 / 12.1 メガピクセル
撮像素子		1/1.7型CCD　総画素数10.54メガピクセル 1/1.72型CCD　総画素数12.40メガピクセル
レンズ	焦点距離	7.5mm ~ 22.5mm
	[35mmフィルム換算]	[35mm ~ 105mm]
	開放F値	F2.8 ~ F4.9
	レンズ構成	7エレメント(7グループ)
	光学ズーム	3 倍
	撮影範囲	ノーマル: 60cm ~ ∞ マクロ: (ワイド) 6cm ~ ∞; (望遠) 40cm ~ ∞
ブレ軽減		電子式ブレ軽減
デジタルズーム		4.5倍 (光学3倍と併用して最大13.5倍)

録画ピクセル数	記録画素数：静止画	A1030: 10MP, 9MP(3:2), 7MP(16:9), 5MP, 3MP, 2MP, 1MP, 0.3MP
		A1230: 12MP(4:3), 10MP(3:2), 9MP(16:9), 6MP, 3MP, 2MP, 1MP, 0.3MP
	動画	640x480ピクセル: 20fps/15fps; 320x240ピクセル: 20fps/15fps
画像圧縮		最高、微細、ふつう
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート		○
ファイル形式	静止画像	Exif 2.2 (JPEG)
	ムービー	画像圧縮: JPEG(AVI)、オーディオ: G.711 [Monaural]
	オーディオ	WAVE [Monaural] (Max 60秒)
撮影モード		自動、手動、画像反シェーク、ムービー、シーン(スポーツ、子供、インドア、葉、雪、夕陽、花火、ガラス、博物館、風景、夜景、夜の人物撮影)、パノラマ、肖像
笑顔検出		○
まばたき検出		○
顔優先AF		○

赤目補正機能	○
パノラマ合成撮影	○
液晶モニター	2.5型　TFTカラー液晶モニター（153,600 ピクセル）
ISO感度	自動、ISO 64/80/100/200/400/800/1600/3200(3M)
AF方式	シングルAF、マルチAF(TTL 9ポイント)、フェーシャルAF、AF逆光(オン/オフ)
光度メーター方式	人口知能AE（Ai AE)、中央部重点平均、スポット(フレームの中心部に固定)
露出コントロール方式	プログラムAE(AEロックを使用できます)
露出補正	±2 EV in 1/3 steps
シャッター速度	4 ~ 1/2000秒 (手動30秒)
連写	約 1.25 fps (画像サイズ大/高画質モード)
再生モード	シングル写真、索引(4/9/16サムネイル)、スライドショー、ムービー（スローモーション可能）、ズーム(約2X ~ 8X)、オーディオ、ヒストグラム表示
ホワイトバランスコントロール	自動(AWB)、日光、曇り、蛍光灯、蛍光灯CWF、白熱球、手動

内部フラッシュ (撮影範囲)	自動/レッドアイ削除/強制フラッシュ/フラッシュなし/スロー同期/レッドアイ削除+スロー同期
	Gno. 5.7±0.5EV (ISO 100)
	(撮影範囲) ワイド: 約0.3m~4.6m / 望遠: 約0.3m~2.7m (ISO 400)
記録メディア	内部メモリー: 24MB
	SDカード/SDHCカード(8GBまでサポート)
その他の機能	PictBridge、Exif印刷サポート、言語設定 (23言語)
入出力端子	USB2.0/AV-OUT (統合専用コネクタ)
電源	単三アルカリ電池 (2個使用)
撮影枚数	A1030: 約120ショット(CIPA標準に基づく) A1230: 約110ショット(CIPA標準に基づく)
動作環境	温度：0~40℃、湿度: 0~90%
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)	95mm x 60mm x 24.5 mm
重量	約145g (本体のみ)

仕様： E840s/E1035/E1235

「設計と仕様は、将来予告なしに変更することがあります」。

モデル名	E840s	E1035	E1235
有効画素数	8.0 メガピクセル	10.1 メガピクセル	12.1 メガピクセル
撮像素子	1/2.5型CCD　総画素数 8.35メガピクセル	1/1.7型CCD　総画素数 10.54メガピクセル	1/1.72型CCD　総画素数 12.40メガピクセル
焦点距離	6.15mm ~ 24.6mm	7.5mm ~ 22.5mm	7.5mm ~ 22.5mm
[35mmフィルム換算]	[37mm ~ 148mm]	[35mm ~ 105mm]	[35mm ~ 105mm]
開放F値	F3.4 ~ F5.8	F2.8 ~ F4.9	F2.8 ~ F4.9
レンズ構成	7エレメント (7グループ)	7エレメント (6グループ)	7エレメント (7グループ)
光学ズーム	4 倍	3 倍	3 倍
撮影範囲	ノーマル: (W) 60cm ~∞ (T) 80cm ~∞ マクロ: (W) 6cm~∞	ノーマル: 60cm ~∞ マクロ: (W) 6cm ~ ∞ (T) 40cm ~ ∞	ノーマル: 60cm ~∞ マクロ: (W) 6cm ~ ∞ (T) 40cm ~ ∞

モデル名	E840s	E1035	E1235
ブレ軽減	電子式ブレ軽減		
デジタルズーム	4.5倍（光学4倍と併用して最大18倍）	4.5倍（光学3倍と併用して最大13.5倍）	4.5倍（光学3倍と併用して最大13.5倍）
記録画素数：静止画	8MP、7MP(3:2)、6MP(16:9)、5MP、3MP、2MP、1MP、0.3MP	10MP、9MP(3:2)、7MP(16:9)、5MP、3MP、2MP、1MP、0.3MP	12MP(4:3)、10MP(3:2)、9MP(16:9)、6MP、3MP、2MP、1MP、0.3MP
動画	640x480ピクセル: 30fps/15fps 320x240ピクセル: 30fps/15fps	640x480ピクセル: 25fps/15fps 320x240ピクセル: 25fps/15fps	640x480ピクセル: 20fps/15fps 320x240ピクセル: 20fps/15fps
画像圧縮	最高、微細、ふつう		
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート	○		
ファイル形式: 静止画像	Exif 2.2 (JPEG)		

モデル名	E840s	E1035	E1235
ファイル形式: ムービー	画像圧縮: MPEG4、オーディオ: G.711 [Monaural]		
ファイル形式: オーディオ	WAVE [Monaural] (Max 60秒)		
撮影モード	自動、手動、画像反シェーク、ムービー、シーン(スポーツ、子供、インドア、葉、雪、夕陽、花火、ガラス、博物館、風景、夜景、夜の人物撮影)、パノラマ、肖像		
笑顔検出	○		
まばたき検出	○		
顔優先AF	○		
赤目補正機能	○		
パノラマ合成撮影	○		
液晶モニター	2.7型 LTPS TFTカラー液晶モニター		
ISO感度	自動、ISO 64/100/ 200/400/800/1600	自動、ISO64/100/200/ 400/ 800/1600/3200	自動、ISO64/100/200/ 400/800/1600/3200(3M)

モデル名	E840s	E1035	E1235
AF方式	シングルAF、マルチAF(TTL 9ポイント)、フェーシャルAF、AF逆光(オン/オフ)		
光度メーター方式	人口知能AE (Ai AE)、中央部重点平均、スポット(フレームの中心部に固定)		
露出コントロール方式	プログラムAE(AEロックを使用できます)		
露出補正	±2 EV(1/3ステップ刻み)		
シャッター速度	4 ~ 1/2000秒 (手動30秒)		
連写	約1.8 fps (画像サイズ大/高画質モード)	約1.39 fps (画像サイズ大/高画質モード)	約1.25 fps (画像サイズ大/高画質モード)
再生モード	シングル写真、索引(4/9/16サムネイル)、スライドショー、ムービー (スローモーション可能) 、ズーム E840s/E1035/E1235 約 2X~8X オーディオ、ヒストグラム表示		
ホワイトバランスコントロール	自動(AWB)、日光、曇り、蛍光灯、蛍光灯CWF、白熱球、手動		

モデル名	E840s	E1035	E1235
内部フラッシュ(撮影範囲)	自動/レッドアイ削除/強制フラッシュ/フラッシュなし/スロー同期/レッドアイ削除+スロー同期		
	Gno. 5.9 (ISO 100)	Gno. 5.7±0.5EV (ISO 100)	Gno. 5.7±0.5EV (ISO 100)
	(撮影範囲)(ワイド):約0.3m~3.3m(望遠):約0.3m~2.7m (ISO 400)	(撮影範囲)(ワイド): 約0.3m~4.1m(望遠):約0.3m~2.3m (ISO 400)	(撮影範囲)(ワイド): 約0.3m~3.2m(望遠):約0.3m~2.0m (ISO 400)
記録メディア	内部メモリー: 26MB		
	SDカード/SDHCカード(4GBまでサポート)		
その他の機能	PictBridge、Exif印刷サポート、言語設定 (23言語)		
入出力端子	USB2.0/AV-OUT (統合専用コネクタ)		
電源	充電式リチウムイオン電池 GB-20、3.7V 750mAh	充電式リチウムイオン電池 GB-40、3.7V 1050mAh	充電式リチウムイオン電池 GB-40、3.7V 1050mAh

モデル名	E40s	E1035	E1235
バッテリ充電器	入力電圧：AC 100～240V、50/60Hz、100mA 出力電圧：DC 4.2V、500mA		
撮影枚数	約200ショット (CIPA標準に基づく)	約210ショット (CIPA標準に基づく)	約210ショット (CIPA標準に基づく)
動作環境	温度：0~40℃、湿度: 0~90%		
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)	95.7mm x 56mm x 19.5 mm	103mm x 56mm x 24 mm	103mm x 56mm x 24 mm
重量	約95g (本体のみ)	約145g (本体のみ)	約145g (本体のみ)

エラーメッセージ

メッセージ	説明
カードなし	• メモリカードが挿入されていません。
カードエラー	• メモリカードがフォーマットされていません。
カード残量なし	• メモリカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。
書き込み保護	• メモリカードが書き込み保護されています。
写真エラー	• 写真が正しく記録されていません。 • 写真が損傷しています 。
写真なし	• メモリカードまたは内部メモリに画像がありません。
レンズエラー	• レンズがつっかえているため、カメラの電源が自動的にオフになります。
システムエラー	• 予期せぬエラーが発生しました。
サウンドファイルなし	• メモリカードまたは内部メモリにオーディオファイルがありません。
画像が保存できない	• メモリカードの書き込み保護スイッチが「ロック」位置にセットされています。

メッセージ	説明
カードがフォーマットされていません。フォーマットしますか?	・メモリカードのフォーマットを確認します。
画像を削除できません	・削除しようとしている写真やビデオが書き込み保護されています。
ムービーを記録できません	・メモリカードの書き込み保護スイッチが「ロック」位置にセットされています。
サウンドファイルを保存できません	・メモリカードの書き込み保護スイッチが「ロック」位置にセットされています。
警告カメラが記録中です。お待ちください。	・ビデオ/オーディオの記録中、他のアクションは実行できません 。
警告バッテリ残量がありません 。	・バッテリが充電切れです。
ファイルを再生できません	・写真形式がカメラによって認識できません。
接続なし	・カメラがプリンタに正しく接続されていません。
印刷エラー	・カメラまたはプリンタに問題があります。
印刷できません	・プリンタが用紙またはインク切れでないことを確認してください。 ・プリンタの用紙が詰まってるかどうか確認してください。

困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラがオンにならない 。	• バッテリ切れです。 • バッテリが正しく挿入されていません。	• バッテリを充電するか、完全に充電されたものと交換してください。 • バッテリのプラスとマイナスを確認しながら、バッテリを挿入します。
操作中にカメラが突然オフになる。	• バッテリ切れです。	• バッテリを充電するか、完全に充電されたものと交換してください。
写真がぼやける。	• レンズが汚れています。 • [ ]が写真の撮影中に表示されます。	• 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを洗浄してください。 • ブレ軽減モードを使用します。
画像、ビデオクリップ、および音声ファイルを保存できない。	• メモリカードの残量がありません。	• メモリカードを新しいものと交換してください。 • 不要な画像を削除してください。 • メモリカードのロック解除してください。

問題	考えられる原因	解決法
シャッターボタンを押しても写真を撮影できない。	• メモリカードの残量がありません。 • ファイルを保存する空き容量がありません。 • モードダイヤルが再生モードになっています。	• メモリカードを新しいものと交換するか、現在のメモリカードを洗浄してください。 • 不要な画像を削除してください。 • メモリカードがロックされています。 • モードダイヤルをスチール写真撮影モードまで回してください。
接続したプリンタから画像を印刷できない。	• カメラがプリンタに正しく接続されていません。 • プリンタがPictBridge互換でありません。 • プリンタが用紙またはインク切れです。 • 用紙詰まりです。	• カメラとプリンタの接続を確認してください。 • PictBridge互換プリンタを使用してください。 • プリンタに用紙を補給してください。 • プリンタのインクカートリッジを交換してください。 • 詰まっている用紙を取り除いてください。